

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-240548

(43)公開日 平成6年(1994)8月30日

(51)Int.Cl.⁵

D 0 4 B 1/24
A 4 1 D 27/20

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

Q

審査請求 有 請求項の数 8 FD (全 49 頁)

(21)出願番号

特願平3-106682

(22)出願日

平成3年(1991)4月10日

(71)出願人 000151221

株式会社島精機製作所

和歌山県和歌山市坂田85番地

(72)発明者 三本 重信

和歌山県和歌山市田尻255の25

(72)発明者 奥野 昌生

和歌山県和歌山市東高松2丁目4番5号

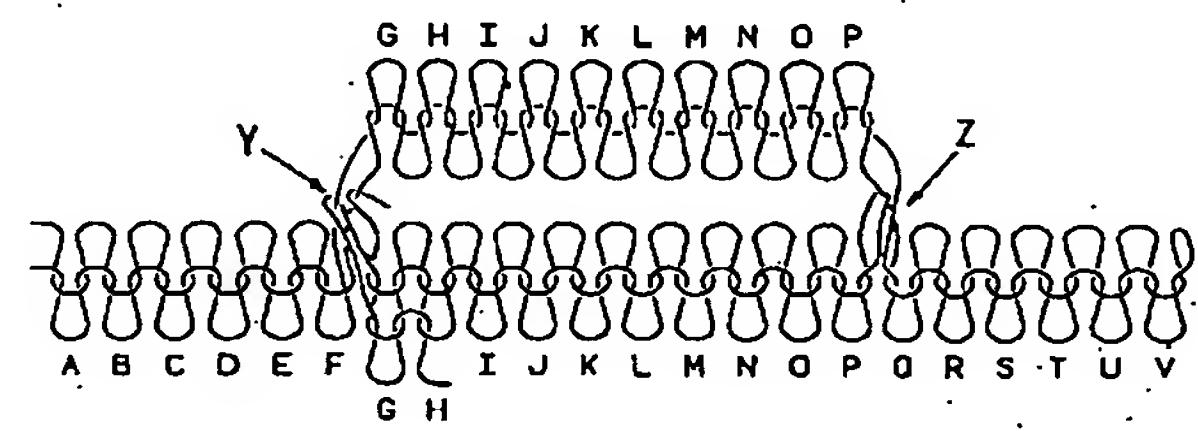
(74)代理人 弁理士 杉本 勝徳 (外1名)

(54)【発明の名称】 貼付け型ポケットを有する編地及びその編成方法

(57)【要約】

【目的】カーディガン等のニット製品におけるベース編地の編成と同時に貼付け形ポケットを盛り上がった状態に編成できるようにすることを目的とするものである。

【構成】まず、ベース編地を編成してゆき、貼付け形ポケットを形成する位置になると、ベース編地を編成しているループを分岐し、ポケットの底部を形成し、ポケットのストレート部分ではその両側縁部がベース編地に連結された状態でしかも、ポケット編地部分で隠れるベース編地の編み組織をその他の編み組織と同じか、または／および表編み組織にする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ベース編地部とポケット編地部とを連続して編成するにあたり、ベース編地部から分岐してポケット部分の編地の編み出し部を形成し、該編み出し部から編立てられるポケット部分の編地の側方部分をベース編地部に連結した状態でベース編地部とポケット部分の編地とを編成することにより貼付け型ポケットを形成するとともに、該ポケットが形成される部分のベース編地部の編み組織を他のベース編地部の編み組織と同じ編み組織または／及び表編み組織で編成するようにしたことを特徴とする貼付け型ポケットを有する編地の編成方法。

【請求項2】ポケット側方部のベース編地部とポケット編地部との連結をタック組織で形成したことを特徴とする請求項1に記載の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法。

【請求項3】ポケット側方部のベース編地部とポケット編地部との連結を編糸同士の交叉により形成したことを特徴とする請求項1に記載の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法。

【請求項4】ポケット側方部のベース編地部とポケット編地部との連結を編糸とループとの交叉により形成したことを特徴とする請求項1に記載の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法。

【請求項5】ポケット側方部のベース編地部とポケット編地部との連結をニットループにより形成したことを特徴とする請求項1に記載の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法に記載の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法。

【請求項6】ベース編地部及びポケット編地部の少なくとも一方が複数のキャリアで編成するようにしたことを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3、請求項4及び請求項5の何れか1項に記載された貼付け型ポケットを有する編地の編成方法。

【請求項7】ベース編地部及びポケット編地部の少なくとも一方がインターチャ編みで形成したことを特徴とする請求項6に記載された貼付け型ポケットを有する編地の編成方法。

【請求項8】ベース編地部から分岐された編み出し部からポケット編地部分を編成するとともに、ポケット部分の編地の側方部分をベース編地部に連結した状態でベース編地部とポケット部分の編地とを編成して貼付け型ポケットを形成してなる貼付け型ポケットを有する編地。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、セータやカーディガン等のニット衣料の、例えば身頃部分を編成する時に貼付け型ポケットを同時に一体にできるようにする貼付け型ポケットを有する編地の編成方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般にニット衣料の身頃部分にポケット

10

を形成する場合、ポケットの形状の編地を作成し、この編地を所望する場所に縫着してポケットを形成するようしている。

【0003】ところが、こうしたものではポケット用の編地の周囲をニット衣料の身頃部分に人手で縫着しており、ポケット用の編地はその周縁部分が巻き込み易く取り扱いが面倒であることや、この編地は簡単に変形し易いことから、縫着作業に多大の手間を要し、その生産性が極めて悪いと言う問題があった。特に、編地が柄物で有る場合にはその柄合わせが難しく、上記問題が顕著に現れる。

【0004】そこで本出願人は、横編機で身頃編地を編成してゆき、ポケットを形成する位置になると、ポケットを形成する部分の編針に掛止しているループから分岐してポケットの底部を形成し、このポケットの底部から編出されたポケットの表地の側縁部が表地に編組された状態で編立てられたポケットの表部分と、ポケットの上部位置に表部分から一連に形成されたリブ編み部分とを有してなることを特徴とした貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を先に提案した。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ニット衣料におけるポケットの開口部はデザインや機能上、リブ編み等の補強が必要であるが、本出願人が先に提案したものでは、ポケット編地部を有する編地を編成する場合、ポケット編地部の外側を表目組織、ポケット編地部の内側に隠れる部分のベース編地部は裏目組織に編成されていた。

【0006】そのために、完成された貼付け型ポケットを有する編地のベース編地部にはポケットの表面の編地に隠れる部分のベース編地部は裏目組織に入れ替わってしまうことから、これを用いて生産された衣類は、その着用時に、ポケットの上部開口から裏目組織に入れ替わった部分が見えるために見栄えが悪く、商品価値を低減させてしまうというも問題があった。

【0007】更に、先に提案したもののように、ポケットの表面の編地に隠れる部分のベース編地部が裏目組織に入れ替わってしまう場合、裏目組織部分は窪んだ形状に成るため、この表面に形成されるポケットの表面の編地がこの窪んだ部分に入り込むことから貼付け型ポケット特有の盛り上がりに欠けてしまうと言う問題があった。

【0008】本発明は上記問題点に鑑み提案されたもので、生産性を損なうことなく、ボリューム感に富んだ貼付け型ポケットを設けた編地の編成方法を提供出来るようすることを目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するためには本発明にかかる貼付け型ポケットを有する編地の編成方法は、上下に各一対の針床を有する横編機を使って、ベース編地部とポケット編地部とを連続して編成するに

50

あたり、ベース編地部から分岐してポケット部分の編地の編み出し部を形成し、該編み出し部から編立てられるポケット部分の編地の側方部分をベース編地部に連結した状態でベース編地部とポケット部分の編地とを編成することにより貼付け型ポケットを形成するとともに、該ポケット部分の編地の表面の編み組織と、これが形成される部分のベース編地部の表面組織の編み組織と同じ編み組織で編成するようにしたことを特徴とするものである。

【0010】

【作用】横編機でセータ又はカーディガン等の身頃部分の編地（ベース編地部）をその下端部から編成していく。そして、この身頃部分の編地がポケットを形成する所定の位置になると、ポケットの幅に相当する部分の編針に掛止しているループを分岐し、ここにポケット編地部分の編み出し部が形成される。次に、身頃部分の編地と、編み出し部からは両横部分が身頃部分の編地に連結された状態のポケット部分の編地とが夫々編立てられて行き、ポケットは袋状に形成される。

【0011】この時、例えば横編機が前後に対峙させた針床を上下に夫々配設してなるものでは、上、又は下の何れか一方の針床で身頃部分の編地を編成する場合、編み出し部から編成されるポケット編地部分を他方の針床で編成すると、ポケット部分の編地が形成される部分のベース編地部の表面の編み組織を他のベース編地部の表面の編み組織と同じ編み組織で編成することができるものである。

【0012】また、横編機が前後に対峙させた一対の針床で形成されているものの場合には身頃部分の編地がポケットを形成する所定の位置になると、身頃部分の編地を一端一方の針床の編針に1つ置きに移し、空針をポケット編地部分を編成する編針に利用することにより、身頃部分の編地とポケット編地部分の表面組織と同じ組織にすることができるものである。

【0013】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。

【実施例1】この実施例は、図1に示すようなカーディガンの前身頃編地部分1に貼付型ポケット2を形成する場合であって、用いられる編機は、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”的横編み機が使用される。

【0014】図2は図1のX-X線断面図、図3は図4以降に示すコースに使用する記号の説明を夫々示す。そして、図4以降に示すコースの左側のFUは前方で上側に配設された針床、FDは前方で下側に配設された針床、BUは後方で上側に配設された針床、BDは後方で下側に配設された針床を夫々示し、コースの右側に記した左右の矢印はループの編成方向、即ち、フィーダーの

進行方向を夫々示す。

【0015】先ず、図4でフィーダー3が右方に移動され、図5でフィーダー3が左方に移動操作される時に、前方で下側に配設された針床FDの編針A～Vに給糸され、夫々のコースでループが形成される。この図4及び図5の作動が繰り返されて前身頃編地部分7がその下部から上に向かって編成されてゆく。そして、図6のポケット2の底部を形成する位置になると、前方で下側に配設された針床FDの編針J～Mに掛止しているループを後方で下側に配設された針床BDの編針J～Mに割って掛止する所謂“割り増やし”が行われる。図7で針床FDの編針J～Mにフィーダー5から給糸されてループが形成された後、図8で針床FDの編針A～I及び後方で下側に配設された針床BDの編針J～Mにフィーダー3から給糸されてループが形成される。

【0016】次に、図9でフィーダー3及びフィーダー5が左方に移動されてそれぞれの給糸がクロスした状態にされた後、図10でフィーダー3が右方に移動され、次いで図11でフィーダー5が右方に編成される。図12では前方で下側に配設された針床FDの編針I及びNに掛止されているループが後方で下側に配設された針床BDの編針I及びNに割って掛止する“割り増やし”が行われ、図13で針床FDの編針N～Iにフィーダー5からの給糸によりループが形成された後、図14で針床BDの編針I～Nに掛止しているループが前方で上側に配設された針床FUの編針i～nに移される。

【0017】図15でフィーダー3の左方への移動により針床FDの編針V～O及び針床FUの編針n～iに給糸されてループが形成された後、図16で針床FUの編針i～nに掛止されているループが針床BDの編針I～Nに移される。然る後、図17で先ずフィーダー3を図15の状態から右方に移動させた後、フィーダー5を図13の状態から右方に移動させてそれぞれの給糸がクロスした状態にし、図18でフィーダー3を左方に移動させて針床FDの編針H～Aにループを形成し、図19でフィーダー5を左方に移動させる。

【0018】図20で前方で下側に配設された針床FDの編針H及びOに掛止されているループが後方で下側に配設された針床BDの編針H及びOに割って掛止する“割り増やし”が行われ、図21で針床FDの編針H～Oにフィーダー5からの給糸によりループが形成された後、図22で針床BDの編針H～Oに掛止しているループが針床FUの編針h～oに移される。図23ではフィーダー3の左方への移動により針床FDの編針A～G及び針床FUの編針h～oに給糸されてループが形成された後、図24で針床FUの編針h～oに掛止されているループが針床BDの編針H～Oに移される。

【0019】こうした図9～図24の各コースを適宜繰り返すことにより、ポケット2の幅が所定の幅H（例えば図25に示す針床BDの編針G～P）に拡幅される

と、図25で先ずフィーダー3を図23の状態から左方に移動させ、フィーダー5を図21の状態から左方に移動させた後、それぞれの糸がクロスした状態にし、図26でフィーダー3を右方に移動させて針床FDの編針Q～Vにループを形成し、図27でフィーダー5を右方に移動させる。図28ではフィーダー5を左方に移動させ針床FDの編針P～Gに糸を供給し、ループを形成した後、図29で針床BDの編針H～Oのループを針床FUの編針g～pに移し、図30でこの針床FUの編針g～pにフィーダー3で糸を供給してループを形成する。

【0020】針床FUの編針g～pにフィーダー3からの糸で形成されたループは、図31で針床BDの編針G～Pに移された後、図32でフィーダー3を図30の状態から右方に移動させた後、フィーダー5を図28の状態から右方に移動させてそれぞれの糸がクロスした状態にし、図33でフィーダー3を左方に移動させて針床FDの編針F～Aに糸を供給してループを形成し、図34でフィーダー5を左方に移動させる。図35ではフィーダー5を右方に移動させ針床FDの編針G～Pに糸を供給してループを形成し、図36で針床BDの編針G～Pのループを針床FUの編針g～pに移し、この針床FUの編針g～pに図37でフィーダー3より糸を供給し、ループを形成する。

【0021】図38で針床FUの編針g～pに掛止されているループを針床BDの編針G～Pに移し、図39でフィーダー3を図37の状態から左方に移動させた後、フィーダー5を図35の状態から左方に移動させてそれぞれの糸がクロスした状態にし、図40でフィーダー3を右方に移動させて針床FDの編針Q～Vに糸を供給してループを形成し、図41でフィーダー5を右方に移動させる。図42ではフィーダー5を左方に移動させ針床FDの編針P～Gに糸を供給してループを形成し、図43で針床BDの編針G～Pのループを針床FUの編針g～pに移し、図44でこの針床FUの編針g～pにフィーダー3から糸を供給し、ループを形成する。

【0022】図45で針床FUの編針g～pに掛止されているループを針床BDの編針G～Pに移す。この図32から図45までの編成コースを適宜繰り返すことによりポケットのストレート部分が編成されるのであるが、このポケットのストレート部分の両側縁部分は図2のY及びZで示すように前身頃編地部分7に糸同士が交差した状態で連結されるのである。

【0023】図46ではフィーダー3を図44の状態から右方に移動させた後、フィーダー5を図42の状態から右方に移動させてそれぞれの糸がクロスした状態にし、図47でフィーダー5を左方に出すとともに、図48でフィーダー3も針床FDの編針F～Aに糸を供給してループを形成しながら左方に出す。次に、図49でポケット2の口部を補強するために補強糸を供給するフィーダー6を入れて針床FDの編針G～Pに糸を供給してルー

プを形成する。尚、この図49の補強ループは省略することもできる。

【0024】図50乃至図67まではポケット2の口部のゴム編地を形成するためのコースを示すものである。即ち、図50で図49の針床BDの編針G～Pのループを針床FUの編針g～pに移した後、図51で針床FDの編針A～F及び針床FUの編針g～pにフィーダー3で糸を供給してループを形成する。図52では針床FUの編針g～pのループを針床BDの編針G～Pに移し、図53でフィーダー3を図51の状態から左方に移動させた後、フィーダー6を図49の状態から左方に移動させて各フィーダーからの糸がクロスする状態にする。

【0025】図54ではフィーダー3を右方に移動させ、針床FDの編針Q～Vに糸を供給してループを形成し、図55でフィーダー6を右方に移動させた後、図56でポケット部分の編地を編成する針床FDの編針G～Pの一つ置きの編針H、J、L、N、Pのループを針床BUの編針h、j、l、n、pに移し、図57で針床FDに残された編針G、I、K、M、Oと針床BUの編針h、j、l、n、pとにわたってフィーダー6から補強糸が糸を供給されリブ編みのループが形成される。図58で針床BUの編針h、j、l、n、pのループを針床FDの編針H、J、L、N、Pに移し、図59で針床BDの編針G～Pのループを針床FUの編針g～pに移した後、図60で針床FUの編針g～pにフィーダー6で糸を供給してループを形成する。

【0026】図61では針床FUの編針g～pに掛止しているループを針床BDの編針G～Pに移し、図62でフィーダー3を図60の状態から右方に移動させた後、フィーダー6を図57の状態から右方に移動させて各フィーダーからの糸がクロスした状態にし、図63で針床FDの編針A～Fにフィーダー3から糸を供給してループを形成する。図64でフィーダー6を図63の状態から左方に移動させ、図65で針床FDの編針G～Pの一つ置きの編針H、J、L、N、Pのループを針床BUの編針h、j、n、pに移した後、図57で針床FDに残された編針G、I、K、M、Oと針床BUの編針h、j、l、n、pとにわたってフィーダー6から糸を供給されリブ編みのループを形成し、図67で針床BDの編針G～Pのループを針床FUの編針g～pに移す。この図50から図67のコースが適宜繰り返されることによりポケット2の口部に所定長さのリブ編みが形成されるのである。こうして形成されたポケット2の口部のリブ編みもその両端縁部分は図58、図67で示すように前身頃部分の編地に糸同士が絡んで連結された状態に編成されるのである。

【0027】図68以降はポケット2の口部の端部を処理するコースを示し、図68で針床BDの編針G～Pのループを針床FUの編針g～pに移した後、図69で針床FDの編針A～F及び針床FUの編針g～pにフィー

ダー3から給糸してループを形成する。図70で針床F Uの編針g～pに掛止されたループを針床B Dの編針G～Pに移し、図71でフィーダー3を図69の状態から左方に移動させた後、フィーダー6を図66の状態から左方に移動させ各フィーダーからの給糸がクロスした状態にし、図72で針床F Dの編針Q～Vにフィーダー3から給糸してループを形成する。図73でフィーダー6を図66の状態から右方に移動させ、図74でフィーダー6からの給糸を針床F Dの編針Qにタックさせた状態で針床F Dの編針P、Oに供給してループを形成した後、この針床F Dの編針P、Oに掛止しているループを図75で針床B Uの編針o、pに移す。

【0028】図76で後方の針床B U、B Dを左方に1ピッチラッキング(移動)させてから針床B Uの編針pに掛止されているループを針床F Dの編針oに移すとともに、図77で後方の針床B U、B Dを右方に1ピッチラッキングさせて標準の位置に戻した後、針床B Uの編針oに掛止されているループを針床F Dの編針oに移すと、この針床F Dの編針oには二つのループが掛止された状態になる。次に、図78でフィーダー6を右方に移動させ、図79でフィーダー6から針床F Dの編針N、Oに給糸されてループが形成される。図75～図79の編成コースを8回繰り返した後、図80で針床F Dの編針G、Hに掛止しているループを針床B Uの編針g、hに移し、図81で後方の針床B U、B Dを左方に1ピッチラッキングさせてから針床B Uの編針hに掛止されているループを針床F Dの編針Gに移す。

【0029】図82で後方の針床B U、B Dを右方に1ピッチラッキングさせて標準の位置に戻した後、針床B Uの編針gに掛止されているループを針床F Dの編針Gに移して、この針床F Dの編針Gに二つのループを掛止させた状態にする。図83でフィーダー6を一旦右方に移動させてから、図84で針床F Dの編針Gにフィーダー6から給糸してループが形成されたのち、フィーダー6を左方に出す。図85で針床F Dの編針Gに掛止されているループを針床B Uの編針gに移した後、図86で後方の針床B U、B Dを左方に1ピッチラッキングさせてから針床B Uの編針gに掛止されているループを針床F Dの編針Fに移してこの編針Fには二つのループが掛止された状態にする。

【0030】しかるのち、図87で後方の針床B U、B Dを右方に1ピッチラッキングさせてから、針床B Dの編針G～Pに掛止されたループを針床F Dの編針G～Pに移した後、図88でフィーダー3で針床B Dの編針V～Aに給糸してループを形成すると、形成されたポケットの口部のリブ編みの両端縁部分は図58、図67で示すように身頃部分の編地に編糸同士が絡んで連結された状態に編成されるのである。以後、この図88を適宜繰り返して前身頃編地部分7が形成されるのである。こうして編成されたカーディガンの前身頃編地部分7には

下方及び両側縁部分が前身頃編地部分7の編糸に絡んで連結され、而もポケット部分の編地で隠れる前身頃編地部分7の編み組織が表地に形成されるとともに、貼付型ポケット2特有の盛り上がりに富んだ状態のポケットが形成されるのである。

【0031】【実施例2】此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例1で用いられた編機が、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”の横編み機であるのに対して、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させニードルベッドを1対設けた通常の所謂“二枚ニードルベッド”を利用して上記“四枚ニードルベッド”と同様の貼付け型ポケットする方法である。

【0032】即ち、図89で示すように、前方のニードルベッドFの例えば編針A～qの内1つ置きの編針A、C、E・…・m、o、qを実施例1に於ける前方で下側に配設された針床F Dとし、他の1つ置きの編針B、D、F・…・l、n、pを実施例1に於ける前方で上側に配設された針床F Uとして作用させるとともに、後方のニードルベッドBの例えば編針A～qの内1つ置きの編針A、C、E・…・m、o、qを実施例1に於ける後方で下側に配設された針床B Dとし、他の1つ置きの編針B、D、F・…・l、n、pを実施例1に於ける後方で上側に配設された針床B Uとして作用させるようにしたものである。

【0033】そして、具体的には図89は実施例1における図4に対応し、これから図173までは夫々実施例1における図88迄の各編成コースに順次対応し、形成されるポケット2も上記実施例1と同様に、ポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の編地に編糸同士が絡んで連結された状態で、而もポケット部分の編地で隠れる前身頃の編地部分の編み組織が表地に形成されるとともに、貼付型ポケット特有の盛り上がりに富んだ状態のポケットが形成されるのである。

【0034】【実施例3】此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例1と同様に用いられる編機を、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”的横編機を用い、図174で示すようなポケットの両端縁部分が身頃部分の編地に編糸とループが交叉した状態で連結された貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。

【0035】そして、図175乃至図205までは上記実施例1における貼付け型ポケットを有する編地の編成方法の編成コースの内、変更する部分のみを示す。此処で、図175乃至図203で編成されるポケット2のストレート部分のループの数が図32乃至図45に示され

るループの数と相違するが、これは当該実施例に使用した“四枚ニードルベッド”の横編機がその前方のニードルベッドと後方のニードルベッドとを0.5ピッチずらして設けられたものを使用しているからであって、それ以外は上記実施例1と同じである。

【0036】即ち、図175でフィーダー5を右方に移動させ、図176で針床FDの編針A～Fにフィーダー3から給糸してループを形成するとともに、図177でフィーダー5を左方に移動させ、図178で針床FUの編針gにフィーダー5から給糸してループを形成する。図179で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床FUの編針gに掛止されているループを針床BDの編針Gに移した後、針床FUの編針h及び針床BDの編針Gにフィーダー5から給糸し、図180で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチ移動させて戻し、フィーダー3を左方に移動させると、フィーダー5から針床BDの編針Gに掛止しているループの周囲を周回するようになる。

【0037】図181でフィーダー5から針床FUの編針h～oに給糸してループを形成した後、図182で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床FUの編針h～nに掛止したループを針床BDの編針H～Nに移す。図183で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせて戻すとともに、フィーダー5を左方に移動させる。図184では針床FDの編針V～Qにフィーダー4で給糸してループを形成するとともに、図185でフィーダー5を右方に移動させ、図186で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床FUの編針oに掛止されているループを針床BDの編針Oに移し、図187で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチ移動させて戻し、フィーダー4を右方に移動させると、フィーダー5から針床BDの編針Gに掛止しているループの周囲を周回するようになる。

【0038】図188でフィーダー5から針床FDの編針P～Gに給糸してループを形成し、図189で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床BDの編針G～Oに掛止しているループを針床FUの編針g～oに移す。図190では図180の位置にあるフィーダー3を右方に移動させ、図191で針床FUの編針gにフィーダー5から給糸されてループを形成した後、図192で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床FUの編針gのループを針床BDの編針Gに移す。図193でフィーダー3から針床BDの編針Gに掛止しているループの周囲を周回させ針床FDの編針A～Fに給糸してループを形成し、図194でフィーダー5を左方に移動させた後、図195でこのフィーダー5から針床FUの編針h～oに給糸してループを形成する。

【0039】図196では後方の針床BU、BDを左方

10

に0.5ピッチラッキングさせてから針床FUの編針h～nに掛止しているループを針床BDの編針H～Nに移し、図197でフィーダー4を左方に移動させた後、図198で針床FUの編針oに掛止しているループを針床BDの編針Oに移す。図199ではフィーダー5を左方に移動させた後、図200でこのフィーダー4を入れ、このフィーダー4から針床BDの編針Oに掛止しているループの周囲を周回させ針床FDの編針Q～Vに給糸してループを形成する。図201でフィーダー5を右方に移動させ、図202でこのフィーダー5から針床FDの編針P～Gに給糸してループを形成し、図203で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングした後、針床BDの編針G～Oに掛止しているループを針床FUの編針g～oに移す。

【0040】以後この図175から図203までの編成コースが繰り返されてポケット2のストレート部分が編成されるのである。こうして編成されたポケット2の両側縁部分と前身頃7の編地との連結は図174に示すように編糸とループが絡み合った状態となる。

20

【0041】〔実施例4〕此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例3で用いられた編機が、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”的横編み機であるのに対して、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させニードルベッドを1対設けた通常の所謂“二枚ニードルベッド”を利用して上記“四枚ニードルベッド”と同様のポケットの両端縁部分が前身部分の編地に編糸とループが交叉した状態で連結された貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。

30

【0042】即ち、図204で示すように、前方のニードルベッドFの例えれば編針A～oの1つ置きの編針A、C、E・・・k、m、oを実施例3に於ける前方で下側に配設された針床FDとし、他の1つ置きの編針B、D、F・・・h、l、nを実施例3に於ける前方で上側に配設された針床FUとして作用させるとともに、後方のニードルベッドBの例えれば編針A～oの内1つ置きの編針A、C、E・・・k、m、oを実施例3に於ける後方で下側に配設された針床BDとし、他の1つ置きの編針B、D、F・・・h、l、nを実施例3に於ける後方で上側に配設された針床BUとして作用するようにしたものである。

40

【0043】そして、具体的には図204は上記実施例3における図175に対応し、これから図232までは夫々実施例3における図203迄の各編成コースに順次対応し、形成されるポケット2も上記実施例3と同様に、ポケット2の両側縁部分と前身頃7の編地との連結は図174に示すように編糸とループが絡み合った状態で、而もポケット部分の編地で隠れる前身頃の編地部分

50

の編み組織が表地に形成されるとともに、貼付型ポケット特有の盛り上がりに富んだ状態のポケットが形成されるのである。

【0044】〔実施例5〕此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例1と同様に、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”の横編機を用い、図235で示すようなポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の連結をニットによる連結で形成するようにした貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。そして、図234乃至図261までは上記実施例1における貼付け型ポケットを有する編地の編成方法の編成コースの内、変更する部分のみを示す。此處で、図234乃至図261で編成されるポケット2のストレート部分のループの数が実施例1に於ける図32乃至図45に示されるループの数と相違するが、これは当該実施例に使用した“四枚ニードルベッド”の横編機がその前方のニードルベッドと後方のニードルベッドとを0.5ピッチずらして設けられたものを使用しているからであって、それ以外は上記実施例1と同じである。

【0045】即ち、図234でフィーダー5を右方に移動させ、図235で針床FDの編針A～Fにフィーダー3から給糸してループを形成するとともに、図236でフィーダー3及びフィーダー5を左方に移動させる。この時、針床FUの編針g～oは空針ニットされた置目に表目を重ねた状態にしてある。図237で針床BDの編針Gにフィーダー3から給糸してループを形成する所謂“空針ニット”をし、図238でフィーダー3を左方に移動させ、図239でフィーダー5で針床FUの編針g～oに給糸してループを形成する。図240で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床FUの編針g～nのループを針床BDの編針G～Nに移し、図241でフィーダー5を左方に移動させる。図242で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床FDの編針V～Qにフィーダー4から給糸してループを形成した後、図243で針床BU、BDを右方に0.5ピッチ移動させて戻し、フィーダー4及びフィーダー5を右方に移動させ、図244で針床BDの編針oにフィーダー4から給糸して空針にループを形成する“空針ニット”を行う。

【0046】図245でフィーダー4を右方に移動させてフィーダー5との給糸がクロスした状態にし、図246で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせた後、針床FUの編針oのループを針床BDの編針oに移して重ねると、ポケットの右側縁部分は前身頃7の編地に絡んだ状態になる。図247で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせて戻し、フィーダー5から針床FDの編針P～Gに給糸してループを形成し、図248では後方の針床BU、BDを

左方に0.5ピッチ移動させてから針床BDの編針G～oに掛止されているループを針床FUの編針g～oに移す。図249で空針となっている針床BDの編針Gにフィーダー3で給糸してループを形成し、図250でフィーダー5を右方に移動させるとフィーダー3とフィーダー5からの給糸はクロスした状態になり、図251でフィーダー3から針床FDの編針F～Aに給糸してループを形成し、図252でフィーダー5を左方に移動させる。

【0047】図253で針床FUの編針g～oにフィーダー5から給糸してループを形成し、図254で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせた後、針床FUの編針g～oのループを針床BDの編針G～Nに移し、図255で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせて針床BDの空針となっている編針oにフィーダー4から給糸してループを形成する。図256でフィーダー5を左方に移動させ、図257で針床FUの編針q～vにフィーダー4で給糸し、図258でフィーダー5を右方に移動させ、図259で針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床FUの編針oに掛止されているループを針床BDの編針oに移す。図260で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチ移動させて戻し、針床FDの編針P～Gにフィーダー5で給糸してループを形成した後、図261で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチ移動させ、針床BDの編針G～oに掛止されているループを針床FUの編針g～oに移す。

【0048】以後この図234から図261までの編成コースが繰り返されてポケット2のストレート部分が編成されるのである。こうして編成されたポケット2の両側縁部分と前身頃編地部分7との連結は図233に示すようにニットで連結された状態となるとともに、編地はインターチャ編みとなる。

【0049】〔実施例6〕此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例5で用いられた編機が、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”の横編み機であるのに対して、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させニードルベッドを1対設けた通常の所謂“二枚ニードルベッド”を利用して上記“四枚ニードルベッド”と同様のポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の編地に編糸とニットで連結された状態の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。

【0050】即ち、図262で示すように、前方のニードルベッドFの例えは編針A～oの1つ置きの編針A、C、E・・・k、m、oを実施例5に於ける前方で下側に配設された針床FDとし、他の1つ置きの編針B、D、F・・・h、l、nを実施例5に於ける前方で上

側に配設された針床 F U として作用させるとともに、後方のニードルベッド B の例えは編針 A ~ o の内 1 つ置きの編針 A、C、E ··· k、m、o を実施例 5 に於ける後方で下側に配設された針床 B D とし、他の 1 つ置きの編針 B、D、F ··· h、l、n を実施例 5 に於ける後方で上側に配設された針床 B U として作用させるようとしたものである。

【0051】そして、具体的には図 262 は上記実施例 5 における図 234 に対応し、図 263 から図 289 までは夫々実施例 5 における図 235 から図 261 迄の各編成コースに順次対応し、形成されるポケット 2 も上記実施例 5 と同様に、ポケット 2 の両側縁部分と前身頃編地部分 7 との連結は図 233 に示すようにニットされた状態で、而もポケット部分の編地で隠れる前身頃の編地部分の編み組織が表地に形成されるとともに、貼付型ポケット特有の盛り上がりに富んだ状態のポケットが形成されるのである。

【0052】【実施例 7】此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例 1 と同様に、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に對峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”的横編機を用い、図 290 で示すようなポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の連結をニットによる連結で形成するようにした貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。そして、図 291 乃至図 320 までは上記実施例 1 における貼付け型ポケットを有する編地の編成方法の編成コースの内、変更する部分のみを示す。此処で、図 291 乃至図 320 で編成されるポケットのストレート部分のループの数が実施例 1 に於ける図 32 乃至図 45 に示されるループの数と相違するが、これは当該実施例に使用した“四枚ニードルベッド”的横編機がその前方のニードルベッドと後方のニードルベッドとを 0.5 ピッチずらして設けられたものを使用しているからであって、それ以外は上記実施例 1 と同じである。

【0053】即ち、図 291 でフィーダー 5 を右方に移動させ、図 292 で針床 F D の編針 A ~ F にフィーダー 3 から給糸しループを形成するとともに、図 293 でフィーダー 3 及びフィーダー 5 を左方に移動させる。図 294 で後方の針床 B U、B D を左方に 0.5 ピッチラッキングさせてから針床 F U の編針 g のループを針床 B D の編針 G に移し、図 295 で後方の針床 B U、B D を右方に 0.5 ピッチラッキングさせて戻し、フィーダー 3 で針床 B D の編針 G に給糸してループを形成する。図 296 でフィーダー 3 を左方に移動させ、図 297 で後方の針床 B U、B D を左方に 0.5 ピッチラッキングさせか後、針床 B D の編針 G のループを針床 F U の編針 g に移す。図 298 では後方の針床 B U、B D を右方に 0.5 ピッチラッキングさせて戻し、フィーダー 5 から針床 F U の編針 g ~ o に給糸してループを形成する。図 29

9 で後方の針床 B U、B D を左方に 0.5 ピッチラッキングさせてから針床 F U の編針 g ~ n のループを針床 B D の編針 G ~ N に移し、図 300 で後方の針床 B U、B D を右方に 0.5 ピッチラッキングさせて戻し、フィーダー 5 を左方に移動させる。

【0054】図 301 で針床 F D の編針 V ~ Q にフィーダー 4 で給糸しループを形成した後、図 302 でフィーダー 4 及びフィーダー 5 を右方に移動させ、図 303 で後方の針床 B U、B D を左方に 0.5 ピッチラッキングさせてから針床 F U の編針 o のループを針床 B D の編針 O に移す。図 304 で後方の針床 B U、B D を右方に 0.5 ピッチラッキングさせて戻し、針床 B D の編針 O にフィーダー 4 から給糸して形成した後、図 305 でこのフィーダー 4 を右方に移動させる。図 306 ではフィーダー 5 で針床 F D の編針 P ~ G に給糸してループを形成し、図 307 で後方の針床 B U、B D を左方に 0.5 ピッチ移動させてから針床 B D の編針 H ~ O に掛止されているループを針床 F U の編針 h ~ o に移す。図 308 で針床 B D の編針 G にフィーダー 3 で給糸してループを形成し、図 309 でフィーダー 5 を右方に移動させるとフィーダー 3 とフィーダー 5 からの給糸はクロスした状態になる。

【0055】図 310 でフィーダー 3 から針床 F D の編針 F ~ A に給糸してループを形成した後、図 311 でフィーダー 5 を左方に移動させ、図 312 で後方の針床 B U、B D を左方に 0.5 ピッチ移動させてから針床 B D の編針 G に掛止しているループを針床 F U の編針 g に移す。図 313 で後方の針床 B U、B D を右方に 0.5 ピッチラッキングさせて戻してから、針床 F U の編針 g ~ o にフィーダー 5 から給糸してループを形成し、図 314 で後方の針床 B U、B D を左方に 0.5 ピッチラッキングさせた後、針床 F U の編針 g ~ o のループを針床 B D の編針 G ~ O に移す。図 315 で後方の針床 B U、B D を右方に 0.5 ピッチラッキングさせて戻し、針床 B D の編針 O にフィーダー 4 から給糸してループを形成する。図 316 でフィーダー 5 を左方に移動させ、図 317 で針床 F U の編針 Q ~ V にフィーダー 4 で給糸し、図 318 でフィーダー 5 を右方に移動させ、図 319 針床 F D の編針 P ~ G にフィーダー 5 で給糸してループを形成する。図 320 で後方の針床 B U、B D を左方に 0.5 ピッチ移動させ、針床 B D の編針 G ~ O に掛止されているループを針床 F U の編針 g ~ o に移す。

【0056】以後この図 291 から図 320 までの編成コースが繰り返されてポケット 2 のストレート部分が編成されるのである。こうして編成されたポケット 2 の両側縁部分と前身頃 7 の編地との連結は図 292 に示すように編込みにより連結された状態となるとともに、編地は各フィーダーから供給された編糸による縦筋の模様、所謂“インターチャ柄”になる。

【0057】【実施例 8】此の実施例に斯かる貼付け型

ポケットを有する編成方法は、上記実施例7で用いられた編機が、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”の横編み機であるのに対して、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させニードルベッドを1対設けた通常の所謂“二枚ニードルベッド”を利用して上記“四枚ニードルベッド”と同様のポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の編地に編糸とニットで連結された状態の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。

【0058】即ち、図321で示すように、前方のニードルベッドFの例えは編針A～oの1つ置きの編針A、C、E・・・k、m、oを実施例7に於ける前方で下側に配設された針床FDとし、他の1つ置きの編針B、D、F・・・h、l、nを実施例7に於ける前方で上側に配設された針床FUとして作用させるとともに、後方のニードルベッドBの例えは編針A～oの内1つ置きの編針A、C、E・・・k、m、oを実施例7に於ける後方で下側に配設された針床BDとし、他の1つ置きの編針B、D、F・・・h、l、nを実施例7に於ける後方で上側に配設された針床BUとして作用させるようにしたものである。

【0059】そして、具体的には図321は上記実施例7における図291に対応し、図322から図350までは夫々実施例7における図292から図320迄の各編成コースに順次対応し、形成されるポケット2も上記実施例7と同様に、ポケット2の両側縁部分と前身頃編地部分7との連結は図233に示すようにニットで連結された状態で、而もポケット部分の編地で隠れる前身頃の編地部分の編み組織が表地に形成されるとともに、貼付型ポケット特有の盛り上がりに富んだ状態のポケットが形成されるのである。

【0060】〔実施例9〕此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例1と同様に、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”の横編機を用い、図351で示すようにポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の連結を編糸同士の連結で形成するようにした貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。そして、図352乃至図367までは上記実施例1における貼付け型ポケットを有する編地の編成方法の編成コースの内、変更する部分のみを示す。此處で、図352乃至図367で編成されるポケット2のストレート部分のループの数が実施例1に於ける図32乃至図45に示されるループの数と相違するが、これは当該実施例に使用した“四枚ニードルベッド”の横編機がその前方のニードルベッドと後方のニードルベッドとを0.5ピッチずらして設けられたものを使用しているからであって、それ以外は

(9)
16

上記実施例1と同じである。

【0061】即ち、図352で針床FDの編針A～Fにフィーダー5で給糸してループを形成した後、図353でフィーダー5及びフィーダー3を左方に移動させ、図354で針床FDの編針F～Pにフィーダー5で給糸してループを形成するとその両端部は絡んだ状態になる。図355で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせた後、針床BDの編針G～Oのループを針床FUの編針g～oに移し、図356で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせて戻し、針床FUの編針g～oにフィーダー3から給糸してループを形成する。図357で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせた後、針床FUの編針g～oのループを針床BDの編針G～Oに移すと、図358で示すようにポケット2の左端縁部は編糸が絡んだ状態になる。又、図358ではフィーダー5及びフィーダー3を左方に移動させ、両フィーダー3・5からの編糸がクロスした状態にし、図359で針床FDの編針Q～Vにフィーダー5から給糸してループを形成するとポケット2の左端縁部は編糸が絡んだ状態になる。

【0062】図360で針床FDの編針V～Qにフィーダー5から給糸してループを形成し、図361でフィーダー3及びフィーダー5を右方に移動させ、図362で針床FDの編針P～Gにフィーダー5で給糸してループを形成した後、図363で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチ移動させてから、針床BDの編針G～Oのループを針床FUの編針g～oに移す。図364で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせて戻し、針床FUの編針o～gにフィーダー3から給糸してループを形成した後、図365で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせた後、針床FUの編針g～oのループを針床BDの編針G～Oに移す。そして、図366でフィーダー5及びフィーダー3を右方に移動させ、両フィーダー3・5からの編糸がクロスした状態にし、図367で針床FDの編針F～Aにフィーダー5から給糸してループを形成するとポケット2の左端縁部は編糸が絡んだ状態になる。

【0063】以後この図352から図367までの編成コースが繰り返されてポケット2のストレート部分が編成されるのである。こうして編成されたポケット2の両側縁部分と前身頃編地部分7との連結は図351に示すようにニットされて連結した状態となる。

【0064】〔実施例10〕此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例9で用いられた編機が、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”の横編み機であるのに対して、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させニードルベッドを1対設けた通常の所謂“二枚ニードルベッド”を利用して上記

“四枚ニードルベッド”と同様のポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の編地に編糸とニットで連結された状態の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。

【0065】即ち、図368で示すように、前方のニードルベッドFの例えは編針A～oの1つ置きの編針A、C、E・・・k、m、oを実施例9に於ける前方で下側に配設された針床FDとし、他の1つ置きの編針B、D、F・・・h、l、nを実施例9に於ける前方で上側に配設された針床FUとして作用させるとともに、後方のニードルベッドBの例えは編針A～oの内1つ置きの編針A、C、E・・・k、m、oを実施例9に於ける後方で下側に配設された針床BDとし、他の1つ置きの編針B、D、F・・・h、l、nを実施例9に於ける後方で上側に配設された針床BUとして作用させるようにしたものである。

【0066】そして、具体的には図368は上記実施例9における図352に対応し、図369から図383までは夫々実施例9における図353から図367迄の各編成コースに順次対応し、形成されるポケット2も上記実施例9と同様に、ポケット2の両側縁部分と前身頃編地部分7との連結は図351に示すように編糸同士の交叉で連結された状態で、而もポケット部分の編地で隠れる前身頃の編地部分の編み組織が表地に形成されるとともに、貼付型ポケット特有の盛り上がりに富んだ状態のポケットが形成されるのである。

【0067】〔実施例11〕此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例1と同様に、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”的横編機を用い、図384で示すようにポケットの底部及び両端縁部分が前身頃編地部分の連結をタックにより連結するようにした貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。そして、図385乃至図392までは上記実施例1における貼付け型ポケットを有する編地の編成方法の編成コースの内、変更する部分のみを示す。此處で、図385乃至図392で編成されるポケット2のストレート部分のループの数が実施例1に於ける図32乃至図45に示されるループの数と相違するが、これは当該実施例に使用した“四枚ニードルベッド”的横編機がその前方のニードルベッドと後方のニードルベッドとを0.5ピッチずらして設けられたものを使用しているからであって、それ以外は上記実施例1と同じである。

【0068】即ち、図385で針床FDの編針A～F及び針床FUの編針g～oにフィーダー3から給糸してループを形成した後、図386で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせた後、針床FUの編針g～oのループを針床BDの編針G～Oに移す。然る後、図387で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピ

ッチラッキングさせて戻し、針床FDの編針Qにタックした状態で編針P～Aにフィーダー3から給糸し、図388で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせてから針床BDの編針G～Oのループを針床FUの編針h～pに移す。図389で針床FDの編針V～Q及び針床FUの編針p～hにフィーダー4で給糸してループを形成した後、図390で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせ、針床FUの編針h～pを針床BDの編針G～Oのループに移す。

【0069】次に、図391で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせて戻し、針床FDの編針Fにタックした状態で編針G～Vにフィーダー4から給糸してループを形成した後、図392で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせ、針床BDの編針G～Oのループを針床FUの編針g～oに移す。以後この図385から図392までの編成コースが繰り返されてポケット2のストレート部分が編成されるのである。こうして編成されたポケット2の両側縁部分と前身頃編地部分7との連結は図384に示すように編糸同士が掛止した、所謂“タック”して連結された状態となる。

【0070】〔実施例12〕此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例11で用いられた編機が、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”的横編機であるのに対して、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させニードルベッドを1対設けた通常の所謂“二枚ニードルベッド”を利用して上記“四枚ニードルベッド”と同様のポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の編地に編糸とニットで連結された状態の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。

【0071】即ち、図393で示すように、前方のニードルベッドFの例えは編針A～oの1つ置きの編針A、C、E・・・k、m、oを実施例11に於ける前方で下側に配設された針床FDとし、他の1つ置きの編針B、D、F・・・h、l、nを実施例11に於ける前方で上側に配設された針床FUとして作用させるとともに、後方のニードルベッドBの例えは編針A～oの内1つ置きの編針A、C、E・・・k、m、oを実施例11に於ける後方で下側に配設された針床BDとし、他の1つ置きの編針B、D、F・・・h、l、nを実施例11に於ける後方で上側に配設された針床BUとして作用させるようにしたものである。

【0072】そして、具体的には図393は上記実施例11における図385に対応し、図394から図400までは夫々実施例11における図386から図392迄の各編成コースに順次対応し、形成されるポケット2も上記実施例11と同様に、ポケット2の両側縁部分と前

身頃編地部分7との連結は図384に示すように連結された状態で、而もポケット部分の編地で隠れる前身頃の編地部分の編み組織が表地に形成されるとともに、貼付型ポケット特有の盛り上がりに富んだ状態のポケットが形成されるのである。

【0073】

【発明の効果】本発明は以上に説明したように、少なくとも前後一対に配設された針床に多数の編針を並設して成る横編み機を用いてポケットを身頃と一体に形成するとともに、ポケットの表部分の上端にリブ編み部分を一体に形成するようにして有るので、外観及び機能美に優れた商品価値の高いものを簡単に生産することが出来ながらも、完成された貼付け型ポケットを有する編地は、ポケットの表面の編地と、これに隠れる部分のベース編地部の表面組織は同じ編み組織にされており、生産された衣類を着用時にも本出願人が先に提案したもののように、ポケットの上部開口から裏目組織に入れ替わった部分が見えて見栄えが悪くなることも無く、製品の商品価値を大幅に向上させることができると言う利点がある。

【0074】更に、ポケットの表面の編地と、これに隠れる部分のベース編地部との表面編地組織が同じ組織で編成するようにしてあるので、ポケットの表面の編地と、これに隠れる部分のベース編地部との表面編地組織が裏目組織に入れ替わってしまう従来のように、ポケットの表面の編地がベース編地部分に入り込むこともなく、貼付け型ポケット特有の盛り上がりのあるポケットを形成することが出来ると言う利点もある。

【図面の簡単な説明】

【図1】ニット製品におけるポケット部を形成した編地の正面図である。

【図2】図2におけるX-X線断面の組織拡大図である。

【図3】編成コースに使用される記号の説明図である。

【図4】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図5】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図6】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図7】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図8】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図9】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図10】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図11】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図12】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図13】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図14】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図15】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図16】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図17】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図18】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図18】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図19】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図20】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図21】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図22】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図23】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図24】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図25】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図26】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図27】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図28】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図29】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図30】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図31】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図32】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図33】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図34】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図35】実施例1に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図392】実施例11に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図393】実施例12に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図394】実施例12に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図395】実施例12に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図396】実施例12に係るポケットを身頃と一体に*

*形成する編成コース説明図である。

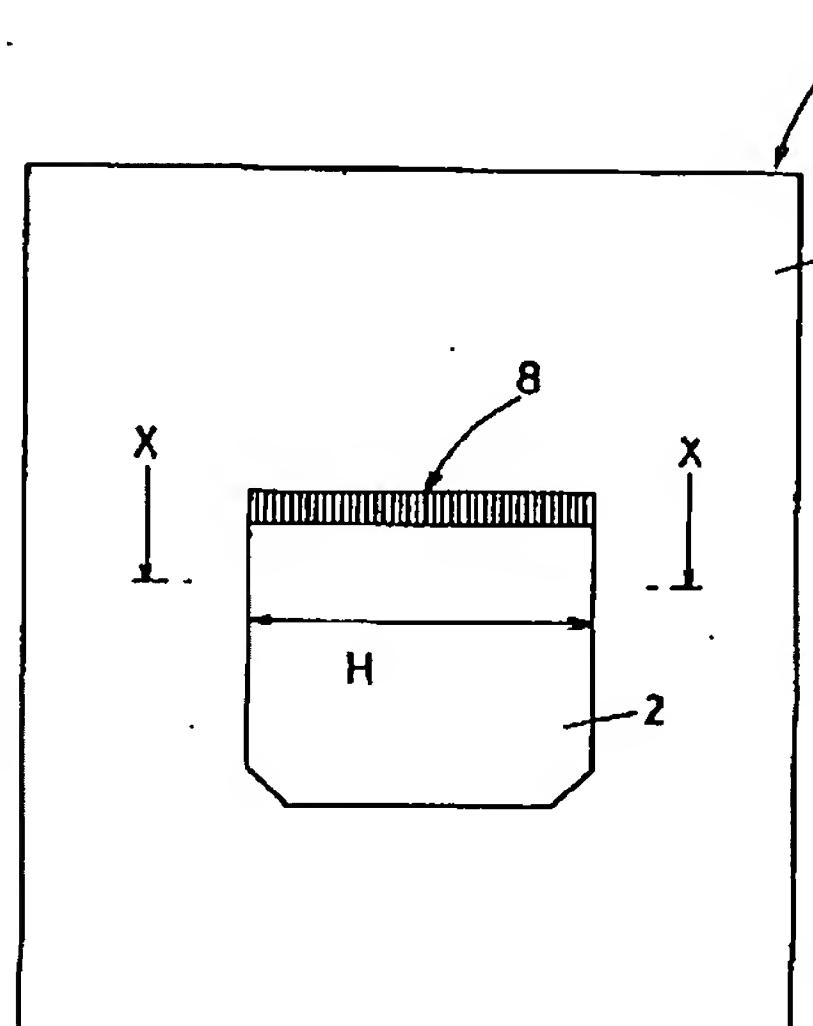
【図397】実施例12に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図398】実施例12に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

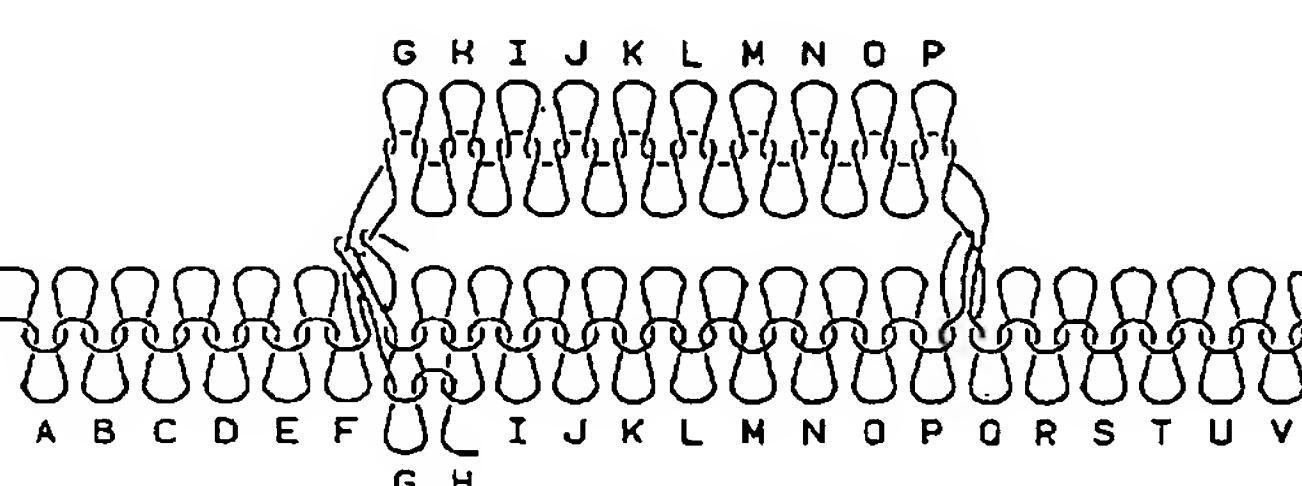
【図399】実施例12に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

【図400】実施例12に係るポケットを身頃と一体に形成する編成コース説明図である。

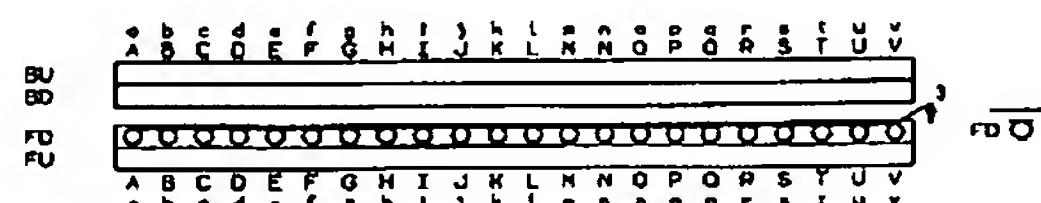
【図1】



【図2】



【図4】



【図5】



【図3】

▽ 表目タック

↑ フィーダー

○ 表目ニット

◎ 表目タック(置目)

↓ フィーダー

○ 裏目ニット

⊖ 空針ニットミス(置目)

○ ミス(置目)

⊖ 空針ニット置目二表目ヲ重ね目

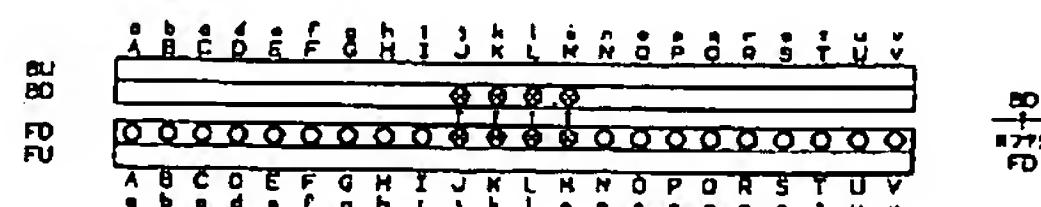
⊗ 割フヤシ

↑ 目移シ FからBへ

◎ 表目に表目を重ね目

↓ 目移シ BからFへ

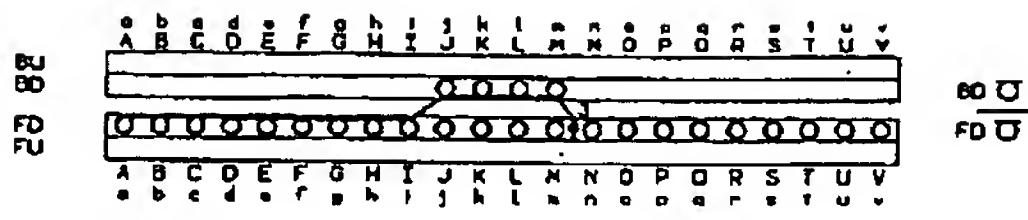
⊖ 空針ニット



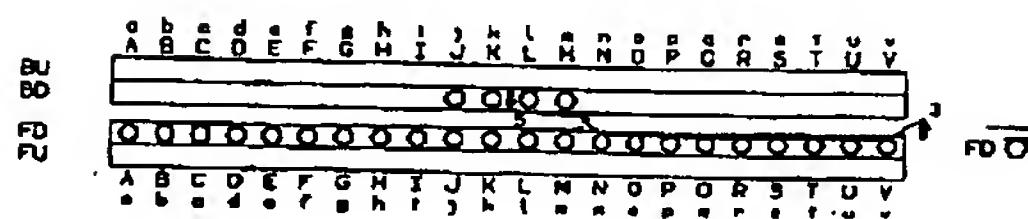
【図7】



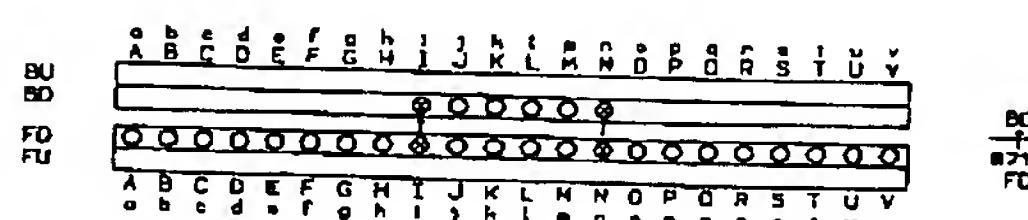
【図8】



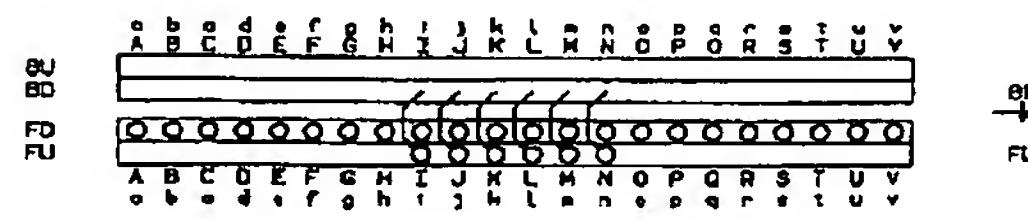
【図10】



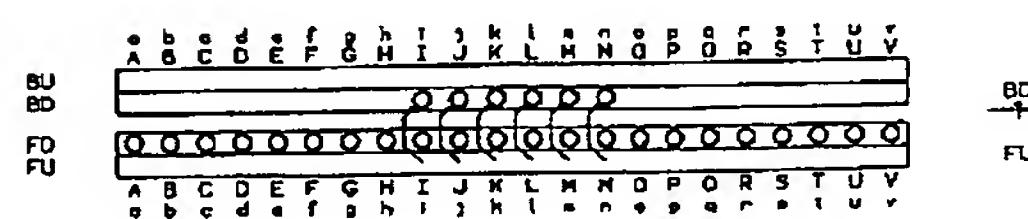
【図12】



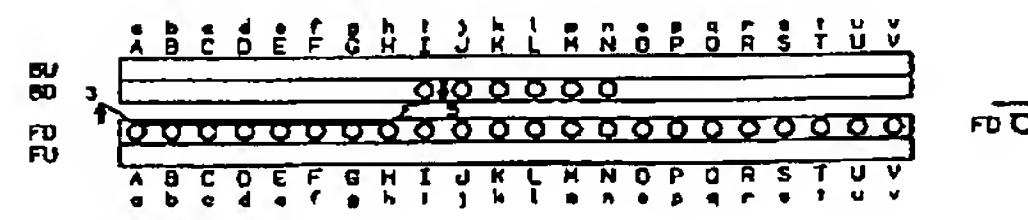
【図14】



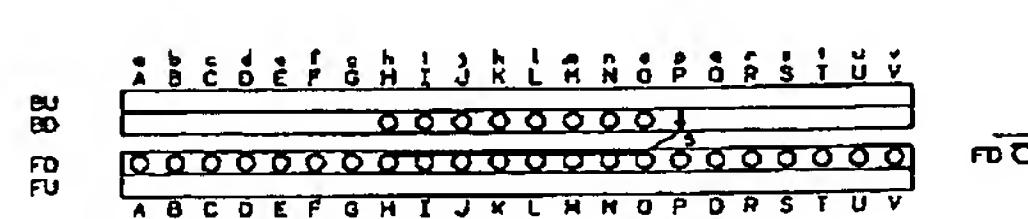
【図16】



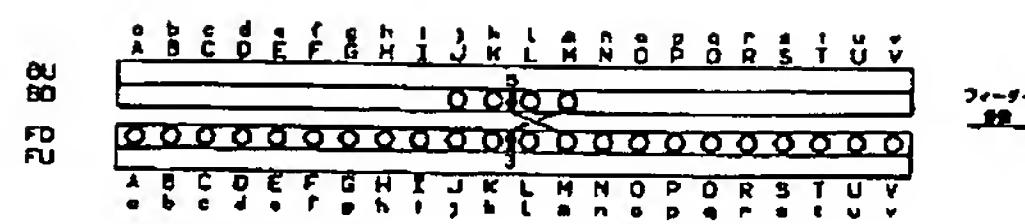
【図18】



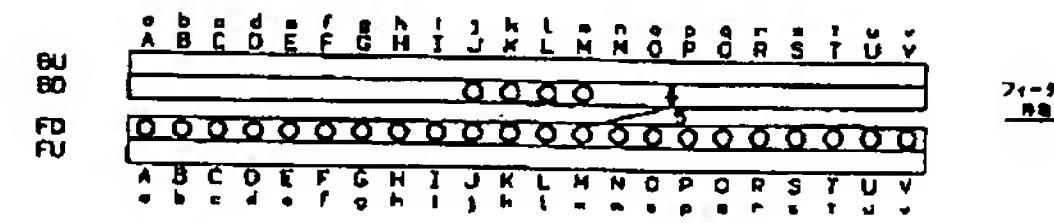
【図21】



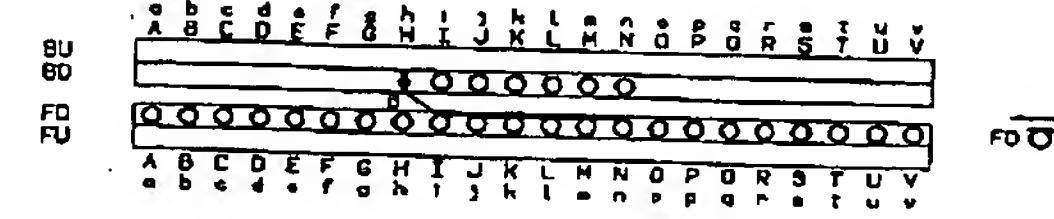
【図9】



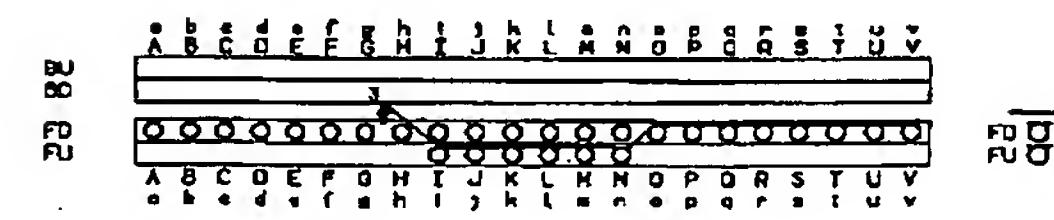
【図11】



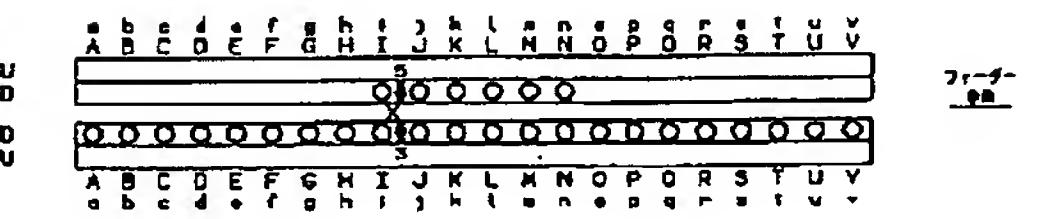
【図13】



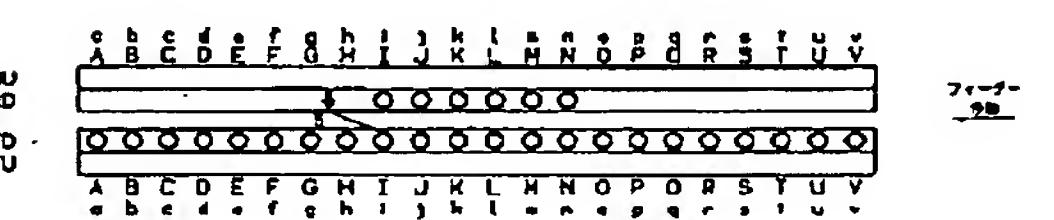
【図15】



【図17】



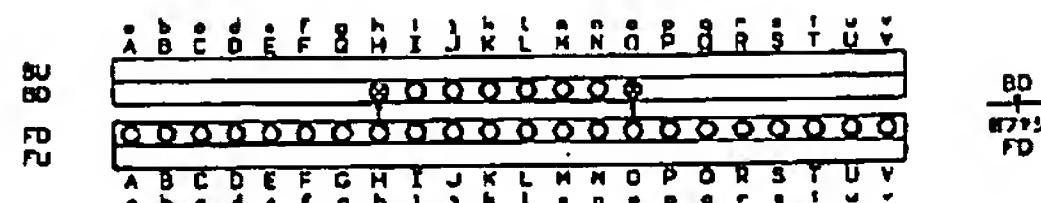
【図19】



(21)

特開平6-240548

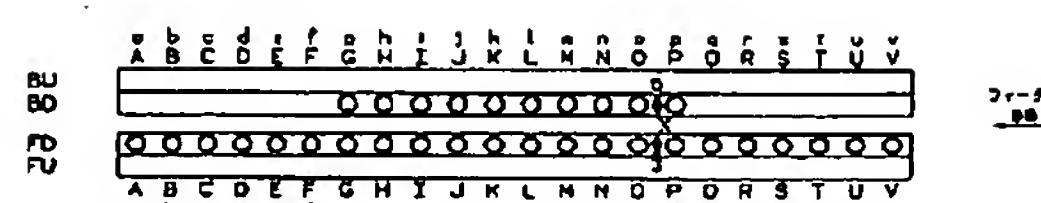
【図20】



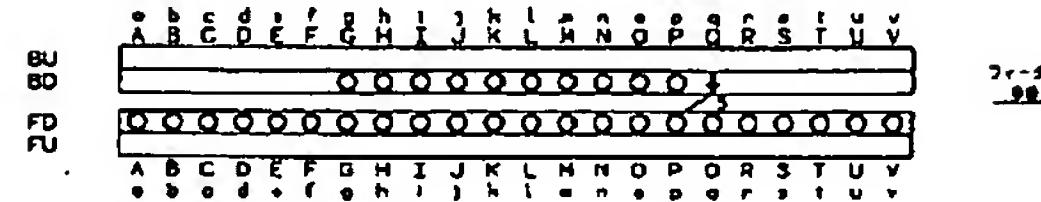
【図23】



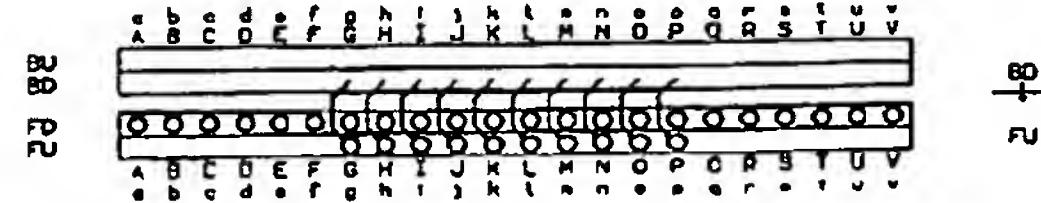
【図25】



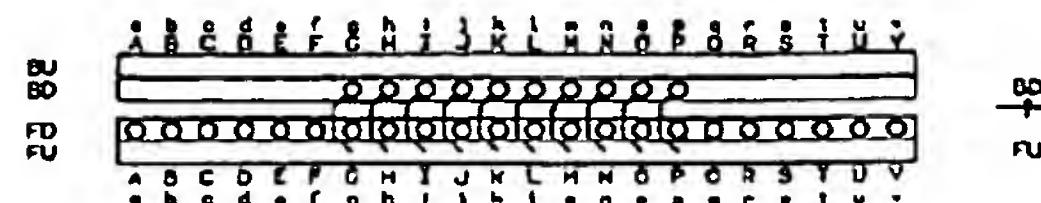
【図27】



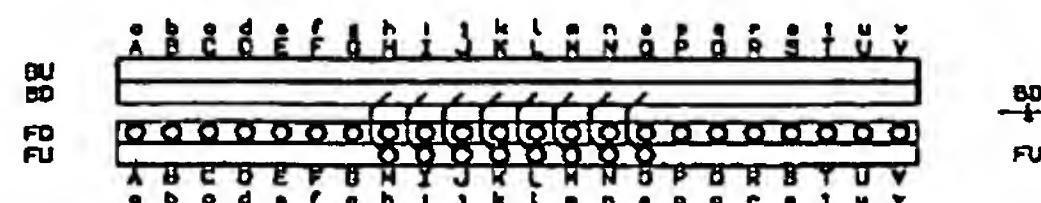
【図29】



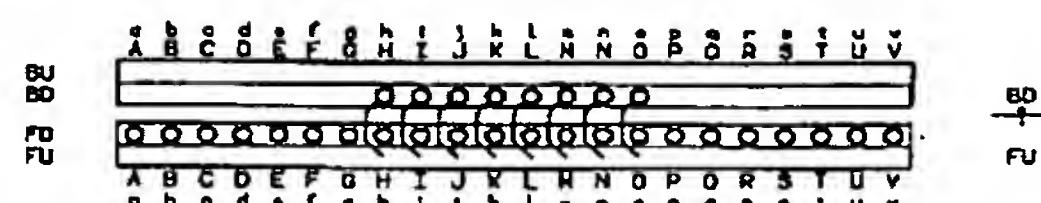
【図31】



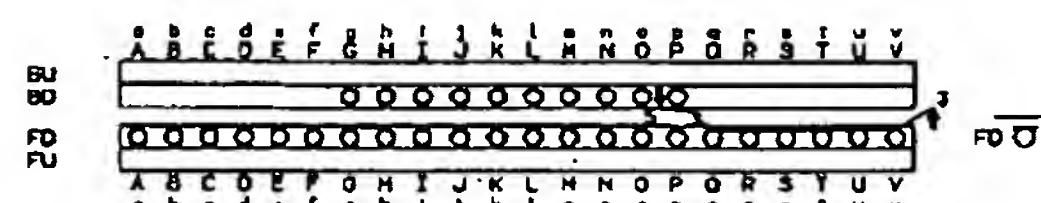
【図22】



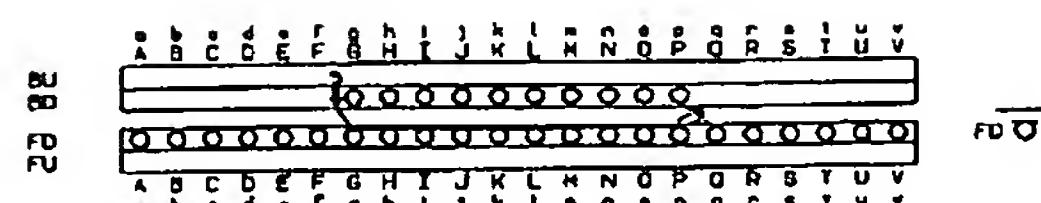
【図24】



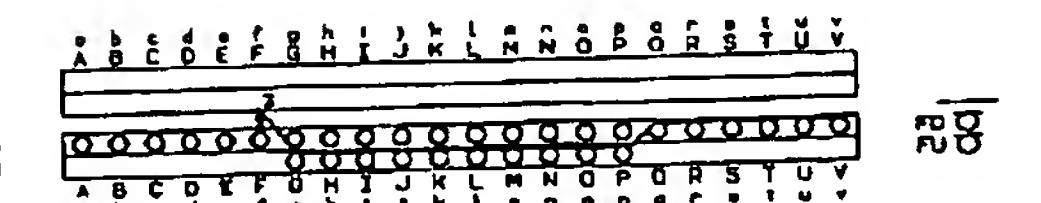
【図26】



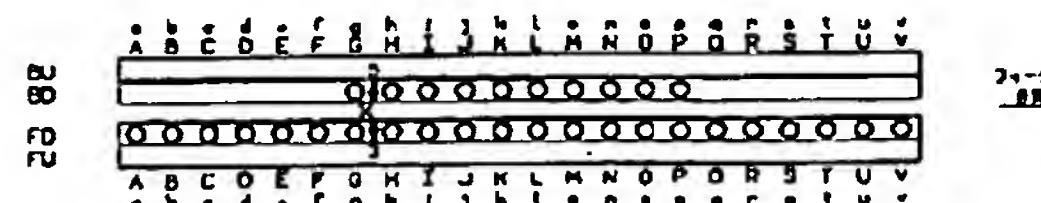
【図28】



【図30】



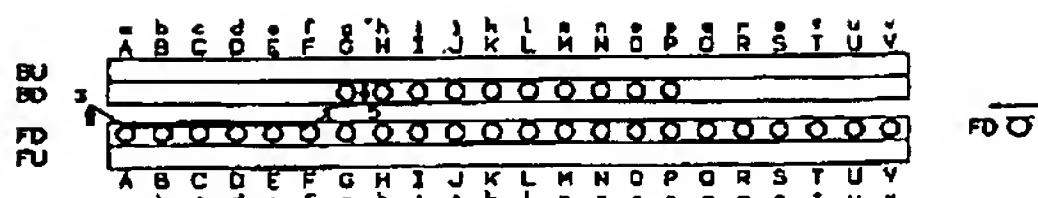
【図32】



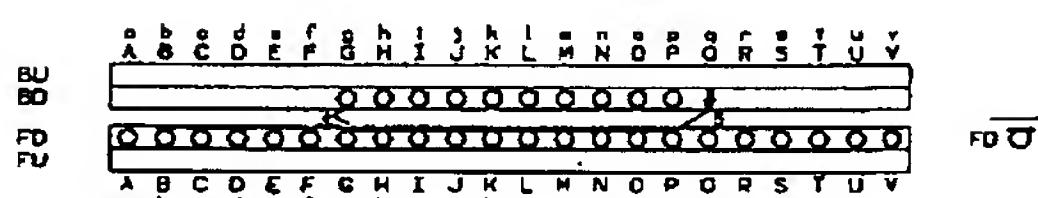
(22)

特開平6-240548

【図33】



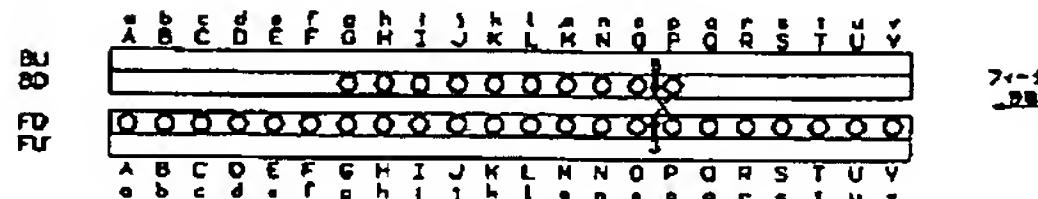
【図35】



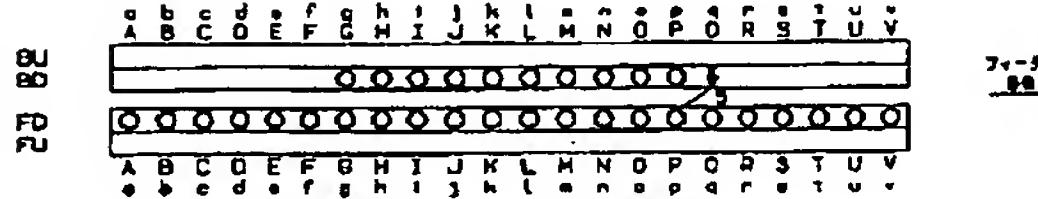
【図37】



【図39】



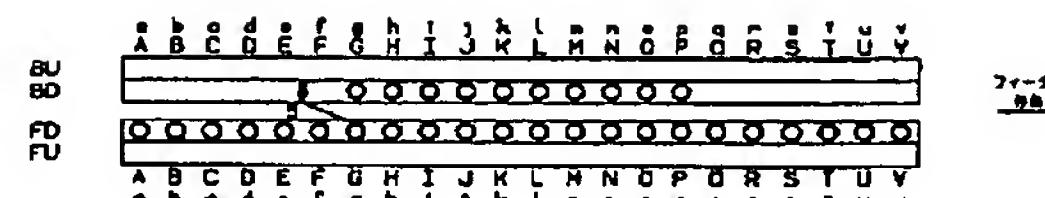
【図41】



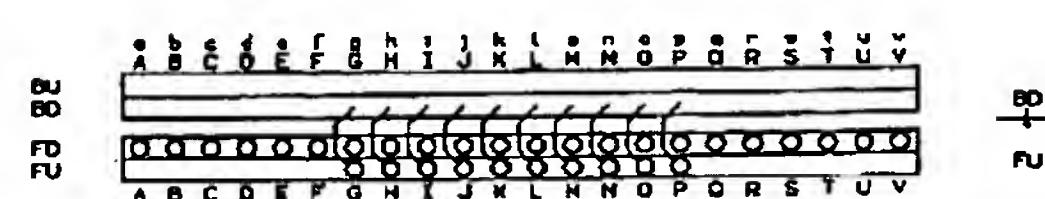
【図43】



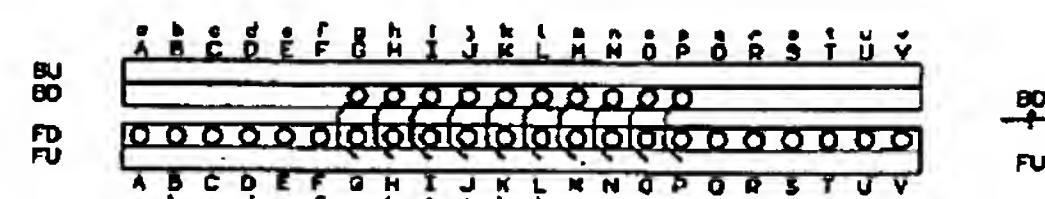
【図34】



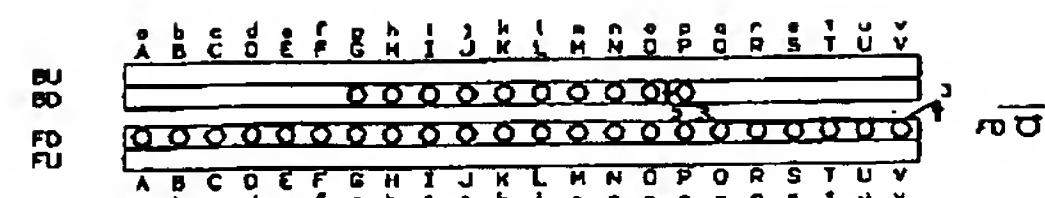
【図36】



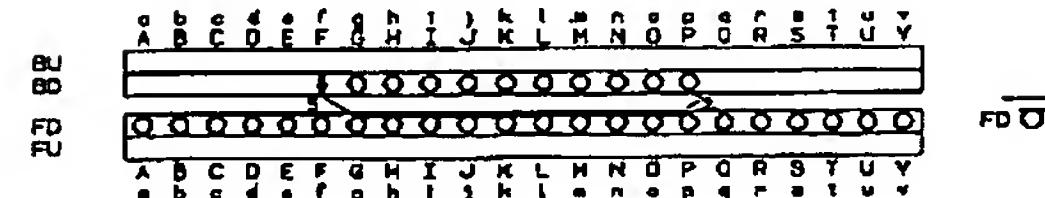
【図38】



【図40】



【図42】



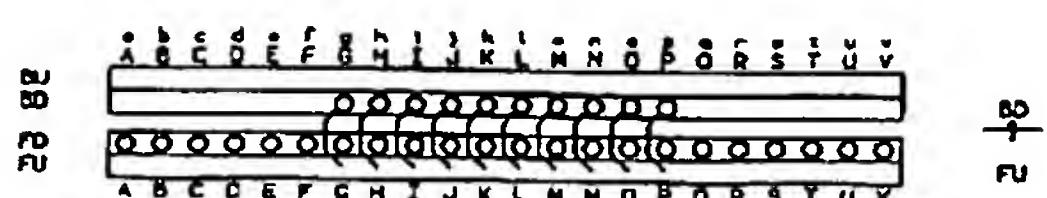
【図44】



(23)

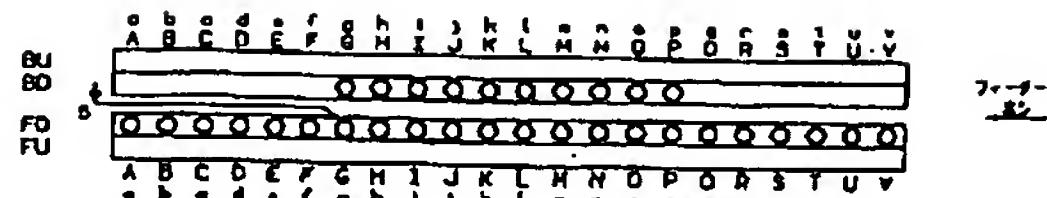
特開平6-240548

【図45】



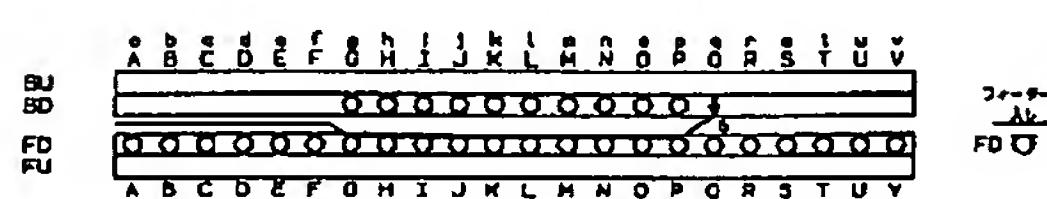
FB
FU

【図47】



7-1-5
FB
FU

【図49】



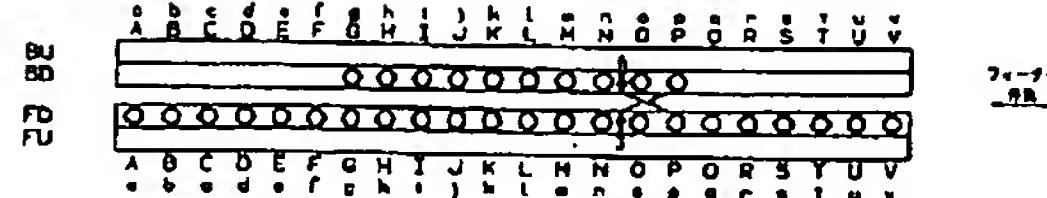
7-1-6
FB
FU

【図51】



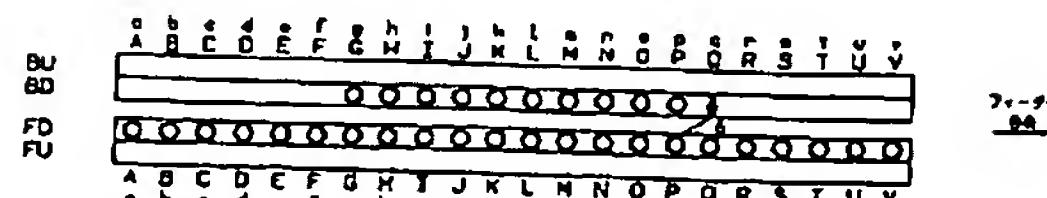
7-1-7
FB
FU

【図53】



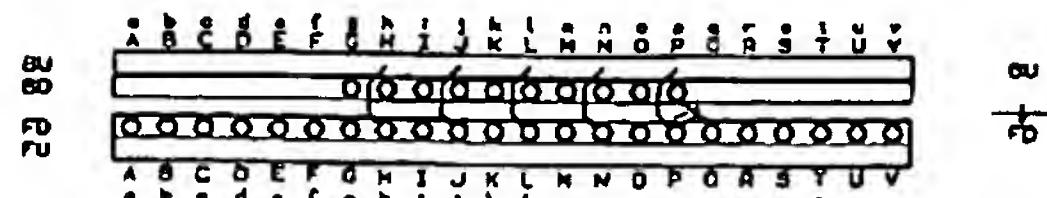
7-1-8
FB
FU

【図55】



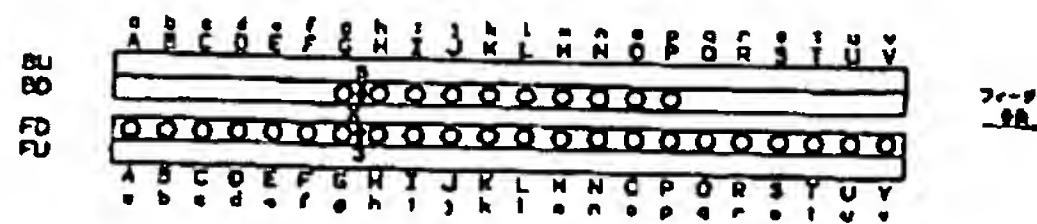
7-1-9
FB
FU

【図58】



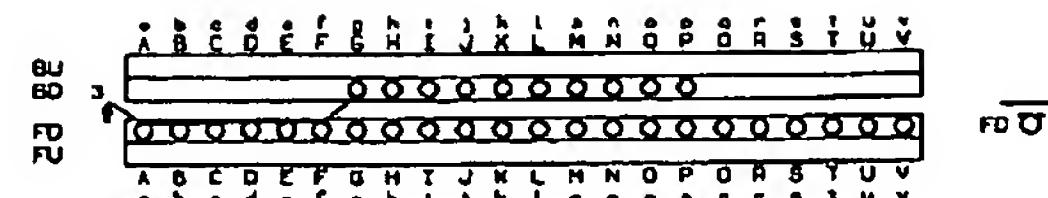
7-1-10
FB
FU

【図46】



7-1-1
FB
FU

【図48】



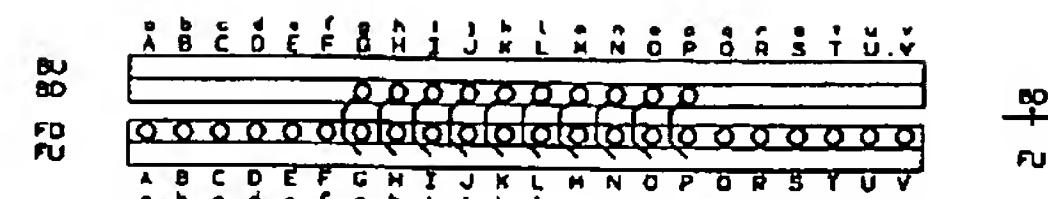
7-1-2
FB
FU

【図50】



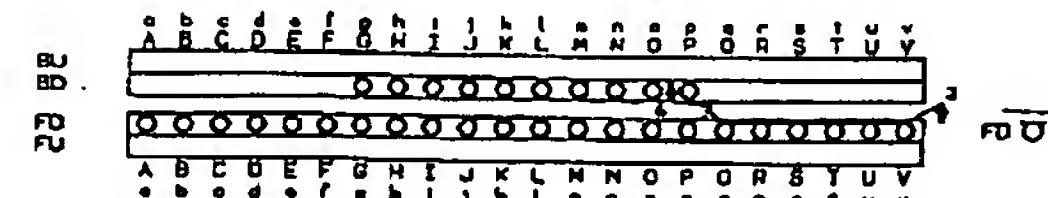
7-1-3
FB
FU

【図52】



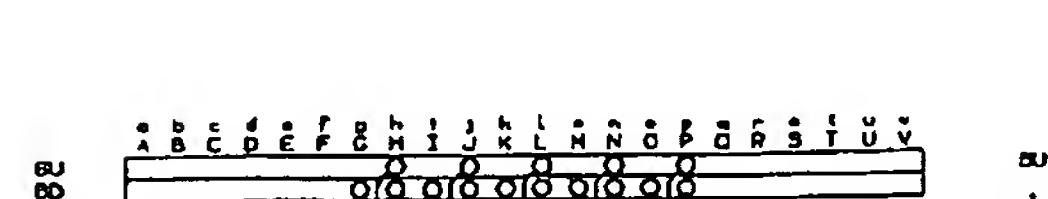
7-1-4
FB
FU

【図54】



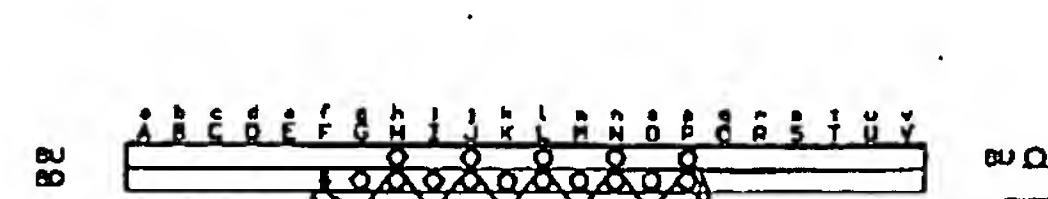
7-1-5
FB
FU

【図56】



7-1-6
FB
FU

【図57】

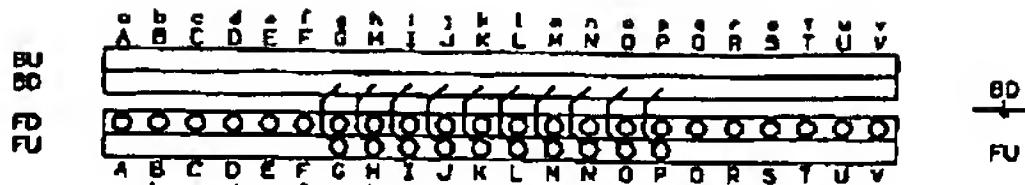


7-1-7
FB
FU

(24)

特開平6-240548

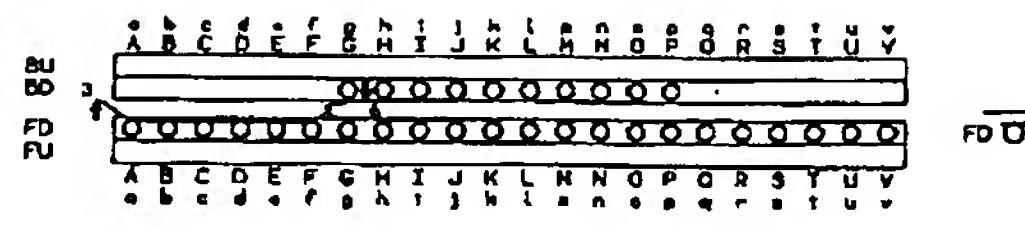
【図59】



【図61】



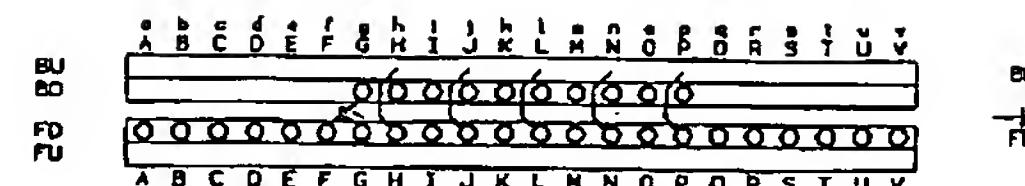
【図63】



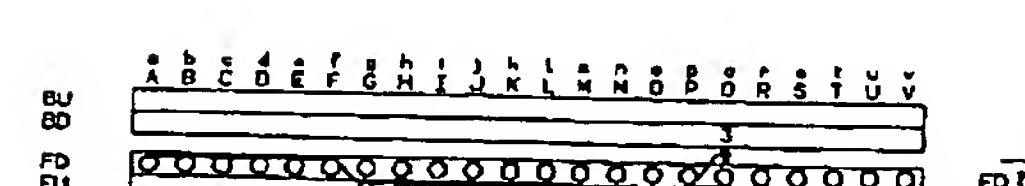
【図65】



【図67】

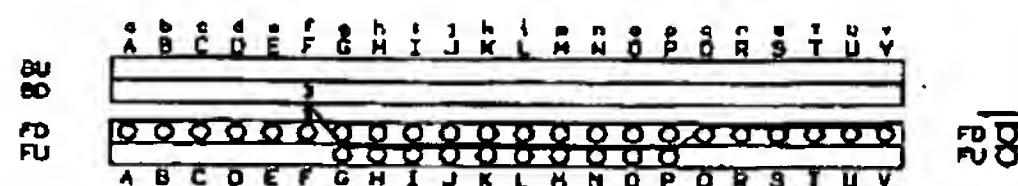


【図69】

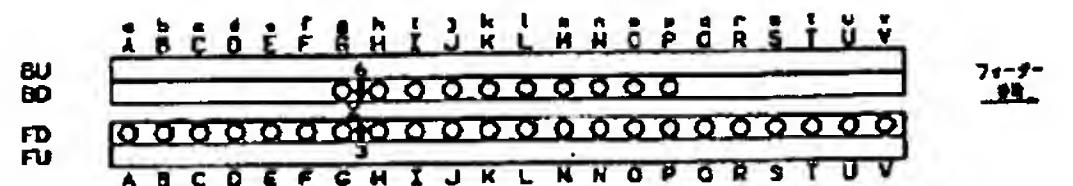


(24)

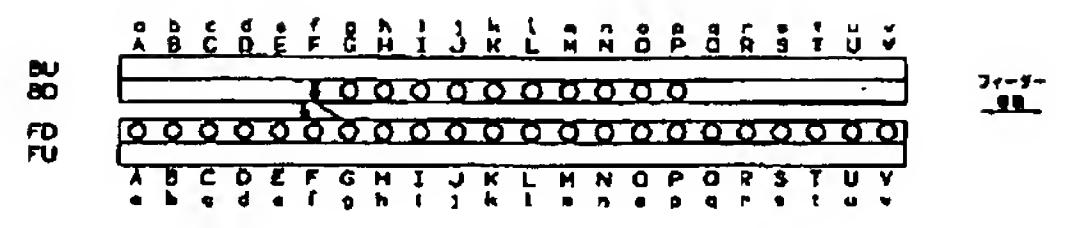
【図60】



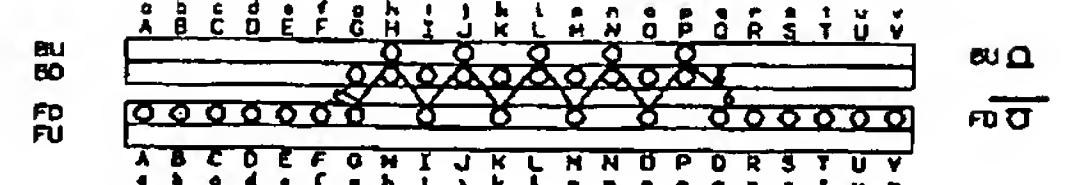
【図62】



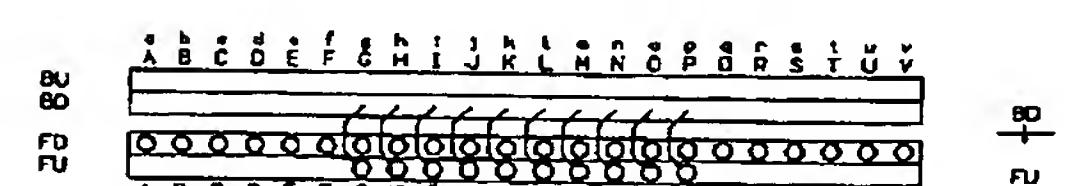
【図64】



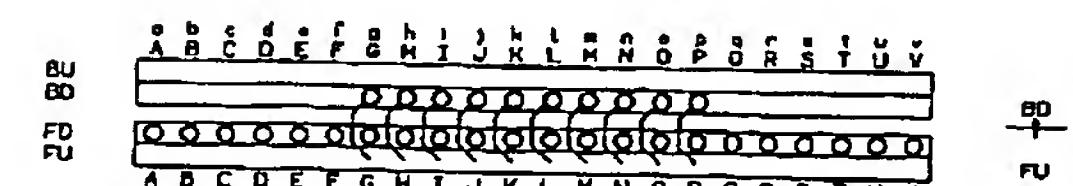
【図66】



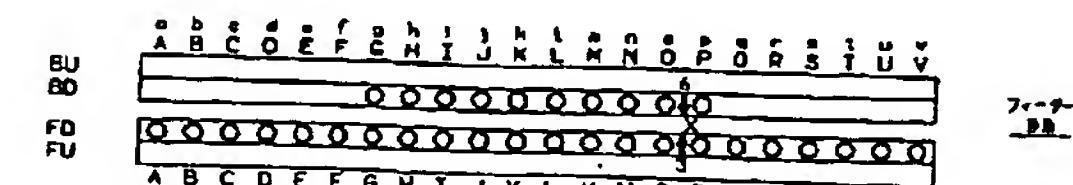
【図68】



【図70】



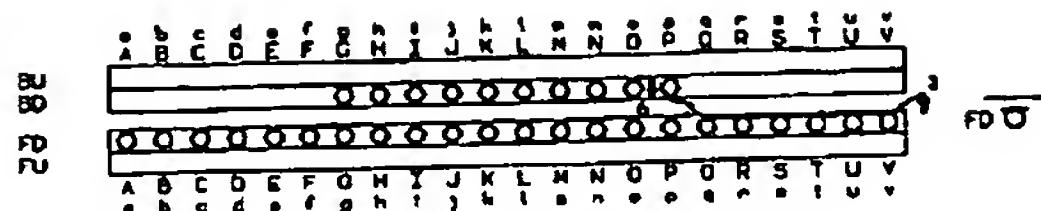
【図71】



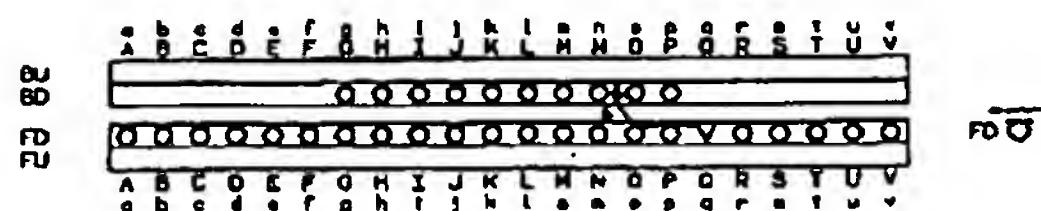
(25)

特開平6-240548

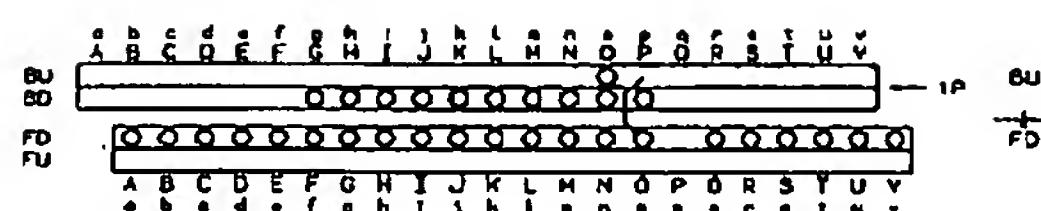
【図72】



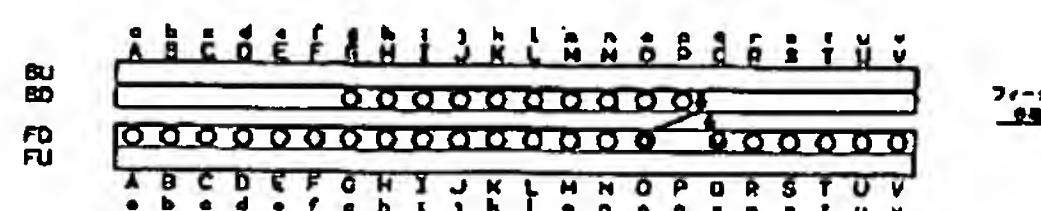
【図74】



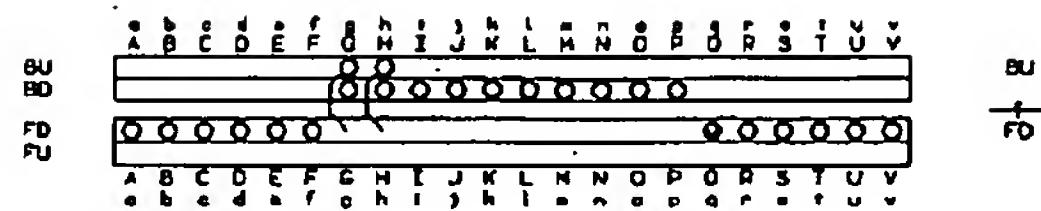
【図76】



【図78】



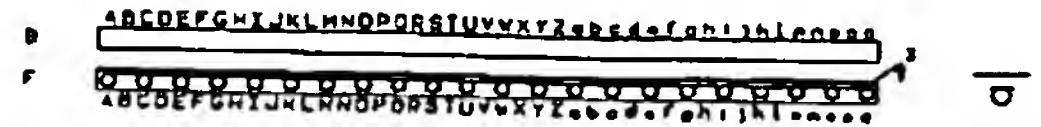
【図80】



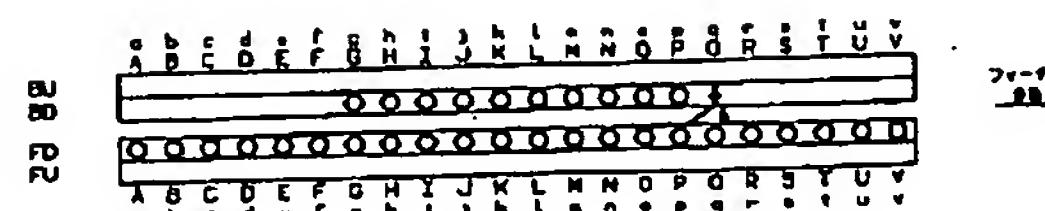
【図82】



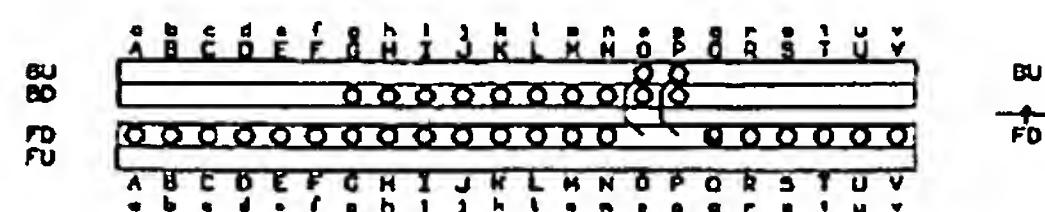
【図89】



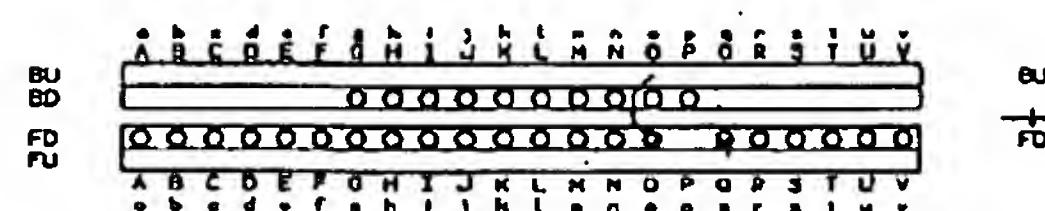
【図73】



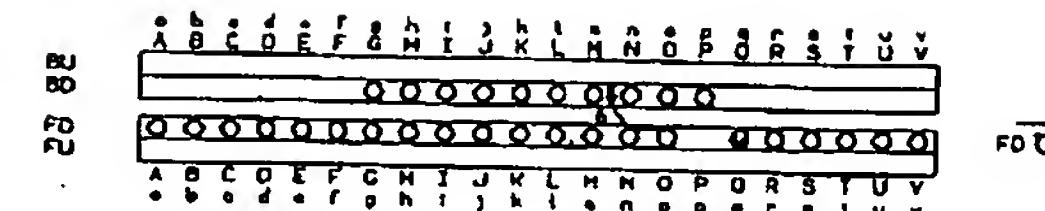
【図75】



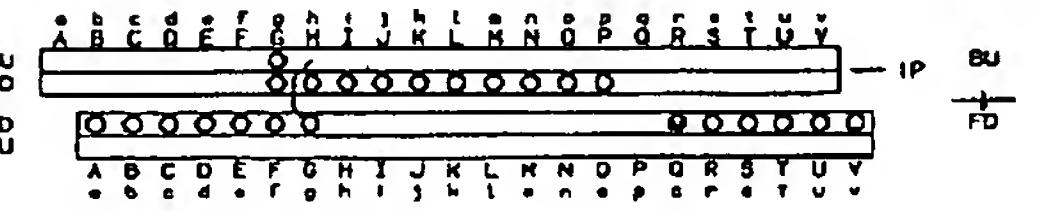
【図77】



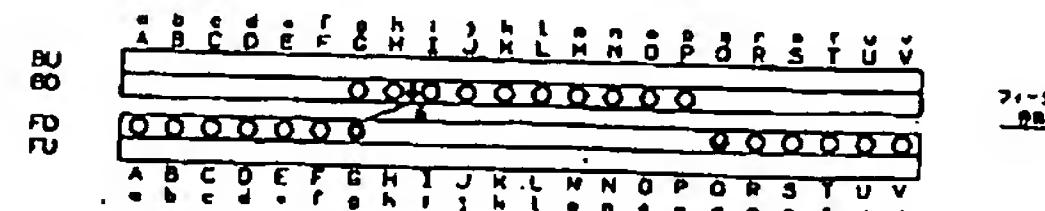
【図79】



【図81】



【図83】



【図86】



(84)

	b	e	d	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v
BU	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
BD
FD
FU
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	S	T	U
	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u

【四 87】

【四九〇】

A handwriting practice sheet featuring two rows of letters and numbers. The top row contains uppercase letters A through Z followed by lowercase letters a through z. The bottom row contains the numbers 0 through 9. Each row is preceded by a bold letter (B or F) and a small number (3 or 5). The entire page is framed by a thick black border.

【图92】

[图94]

〔图98〕

(☒ 96)

【四 85】

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	
80																						
FD																						
F2																						
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v
	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	

[図 88]

	b	c	d	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	r	s	t	u	v
BU	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	R	S	T
BO																			
FD																			
FU																			
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	R	S	T
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	r	s	t

【图91】

【図93】

【四九五】

[図97]

【四】132】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
F ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

【四 135】

A handwriting practice sheet featuring three rows of horizontal lines. The top row contains the uppercase alphabet from A to Z. The middle row contains the lowercase alphabet from a to z. The bottom row contains the numbers 0 through 9. Each row is preceded by a bold letter or number indicating the starting point for each line.

(图 137)

(四) 139

〔四〕 1 4 1]

This image shows a sample page from a handwriting guide. It features three rows of text. The first row contains uppercase letters A through Z followed by lowercase letters a through z. The second row consists of a series of small circles for tracing practice. The third row contains the same sequence of letters and numbers as the first row.

【图 1-4-3】

【图 1-4-5】

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V Y X Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v y x z

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V Y X Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v y x z

【四 134】

A horizontal ruler scale marked from 0 to 10 centimeters. Each centimeter is divided into 10 smaller millimeter segments, with each millimeter marked by a small vertical tick. The scale is labeled with numerical values at every centimeter mark.

【图136】

(138)

A horizontal ruler scale from 0 to 10 cm. The scale has millimeter markings every 1 mm and centimeter tick marks every 1 cm, labeled with letters A through Z above the top edge and numbers 1 through 10 below the bottom edge.

〔四一四〇〕

A photograph of a metric ruler and a metric tape measure. The ruler is at the top, marked from 0 to 10 cm with millimeter subdivisions. The tape measure is below it, also marked from 0 to 10 cm, with centimeters on the left and millimeters on the right.

【図147】

【☒ 1 4 2】

【图 144】

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w y z

[图 1-4-6]

A horizontal ruler scale marked from 0 to 10 centimeters. Each centimeter is divided into 10 millimeters, with small tick marks at each millimeter interval. The numbers 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, and 10 are placed above the scale line.

【図148】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図150】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図152】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図154】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図156】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図158】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図160】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図162】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図164】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図165】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図149】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図151】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図153】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図155】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図157】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図159】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図161】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図163】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【図166】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdedfghijklmnop
F ABCDEF...
ABCDEF...

△

【图 167】

【図168】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
F ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

【四 169】

D ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
F ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

【四 170】

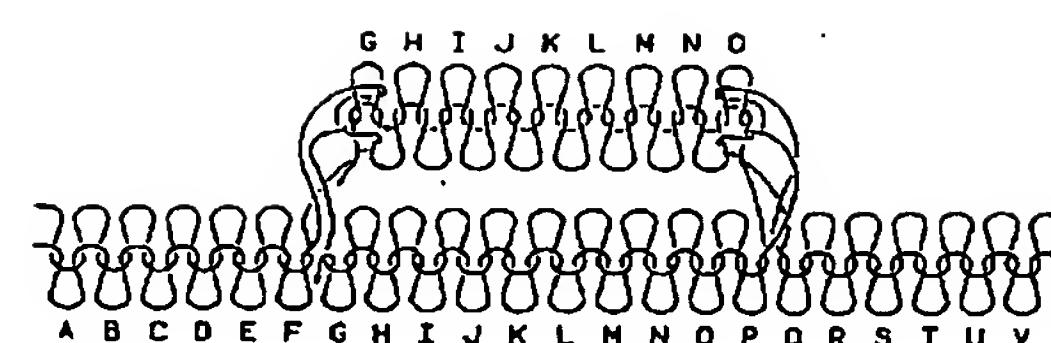
【四 171】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
F ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

【 1 7 2】

〔四〕 173

(図 174)



(图 175)

【图 176】

(四) 177)

【图 178】

〔四〕 179

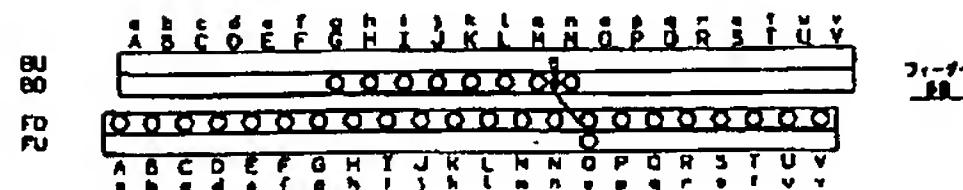
【图 180】

A black and white photograph of a vintage slide projector. The projector is positioned horizontally across the frame. A single horizontal film strip is visible, extending from the left side of the projector towards the right. The film strip features a series of small, rectangular frames, each containing a different letter of the English alphabet (A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V) arranged sequentially. The projector's body is dark, and the background is a plain, light-colored wall.

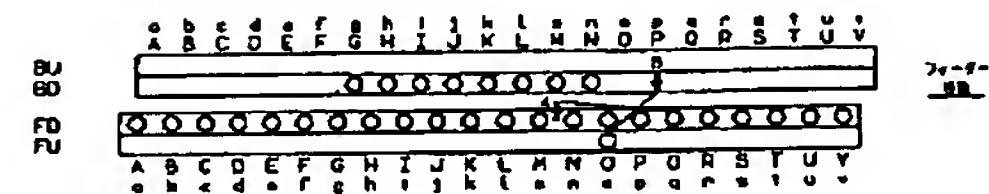
【図181】



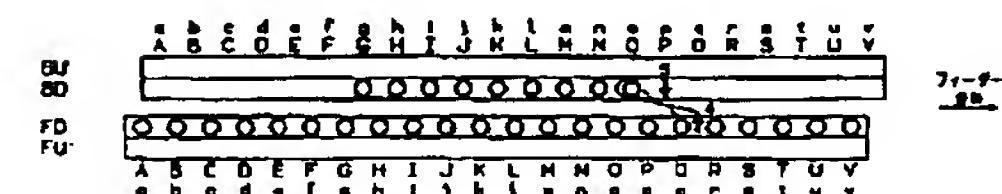
【図183】



【図185】



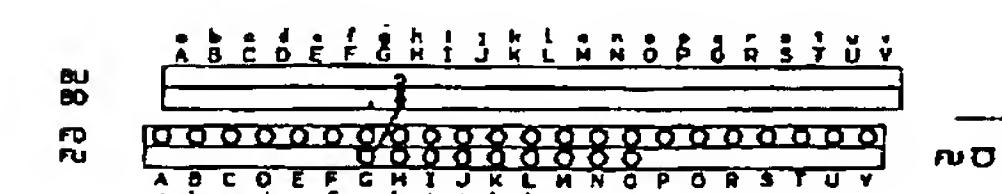
【図187】



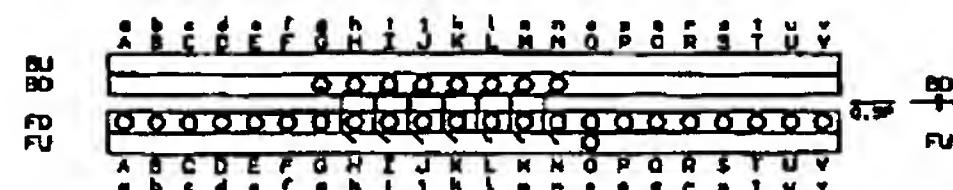
【図189】



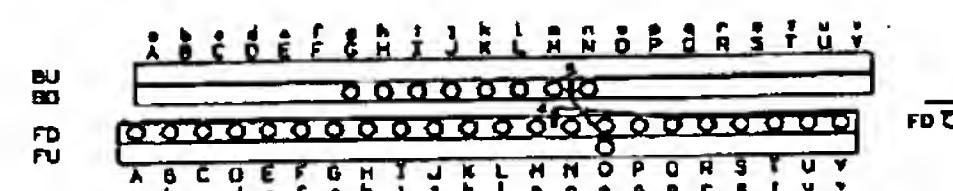
【図191】



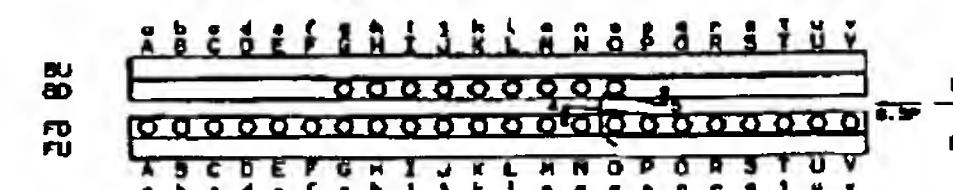
【図182】



【図184】



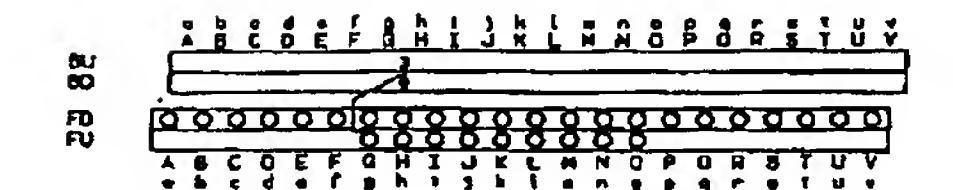
【図186】



【図188】



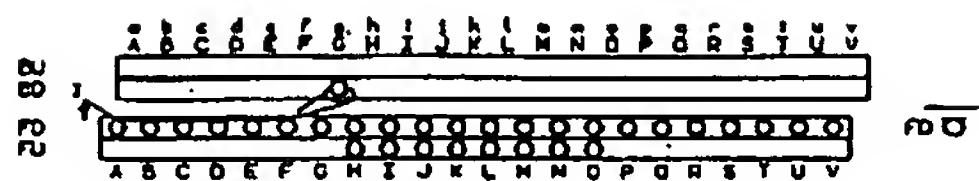
【図190】



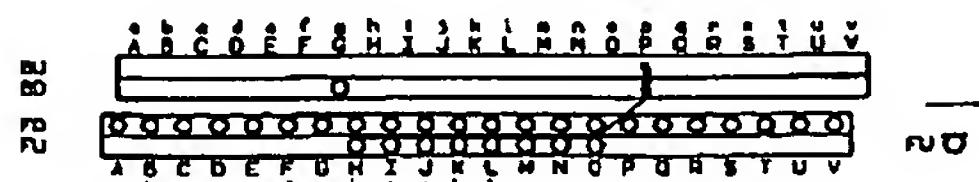
【図192】



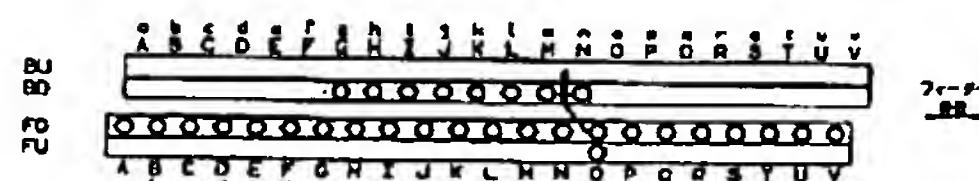
【図193】



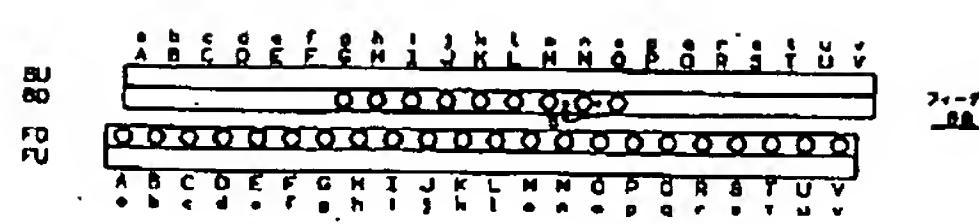
【図195】



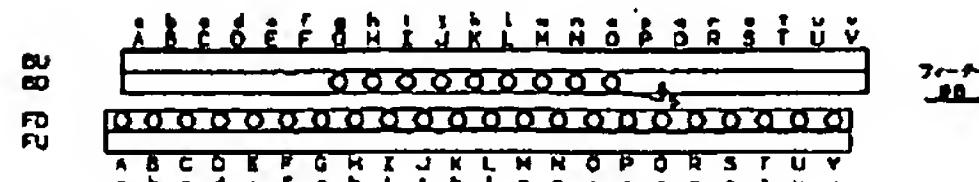
【図197】



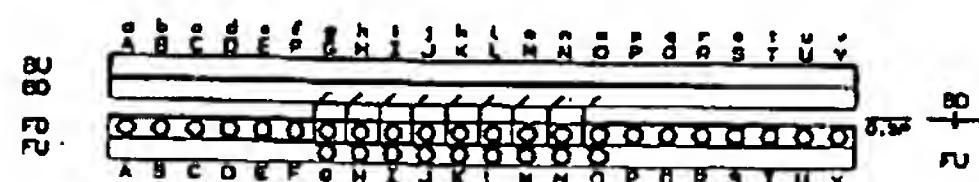
【図199】



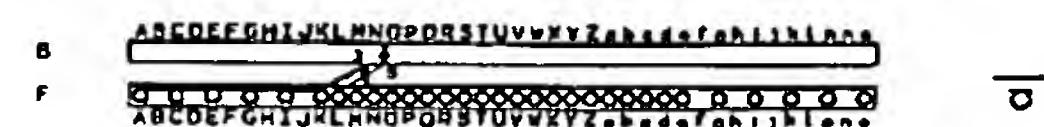
【図201】



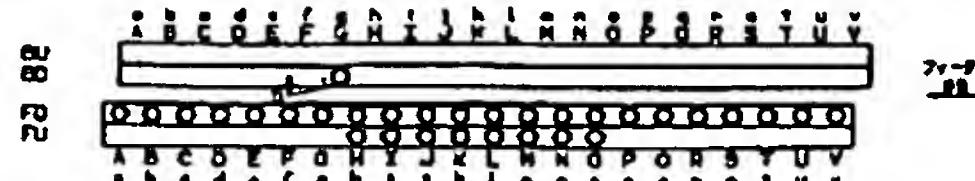
【図203】



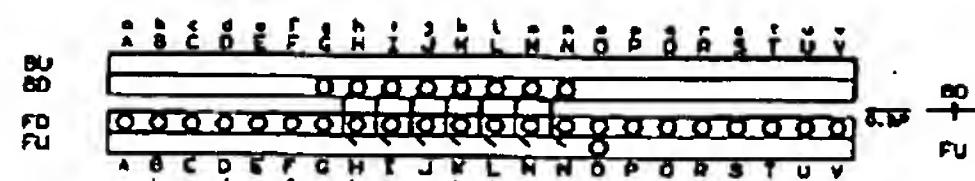
【図205】



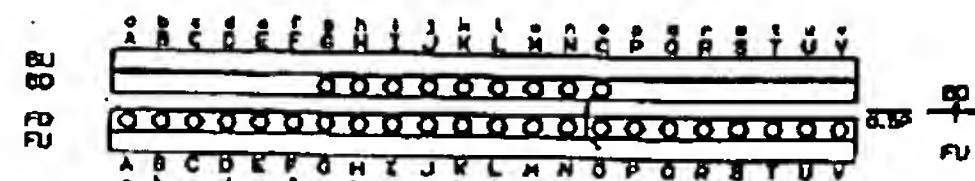
【図194】



【図196】



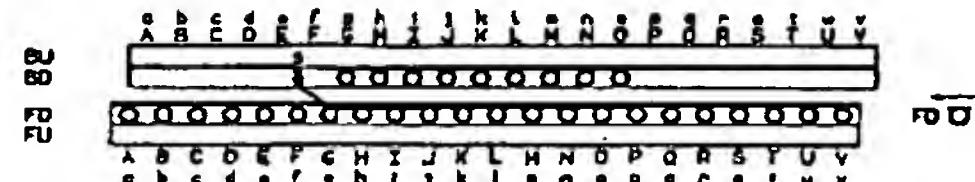
【図198】



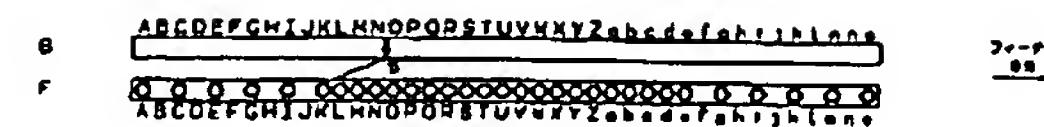
【図200】



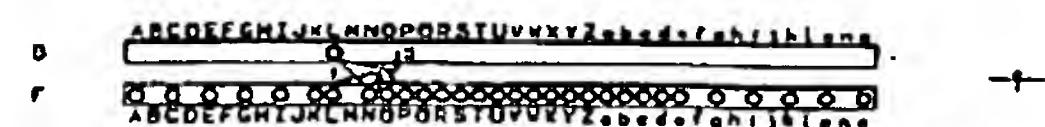
【図202】



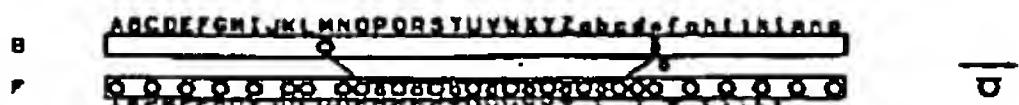
【図204】



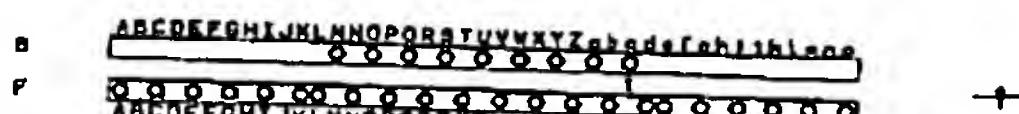
【図208】



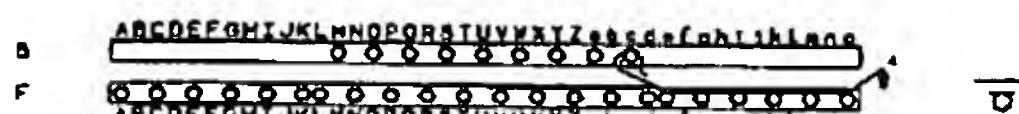
【図224】



【図227】



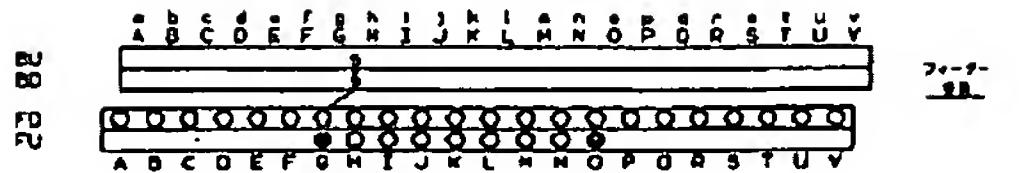
【図229】



【図231】



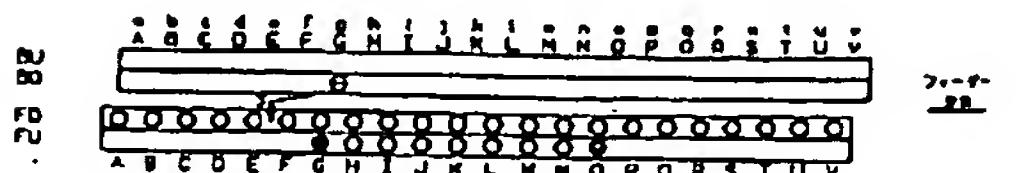
【図234】



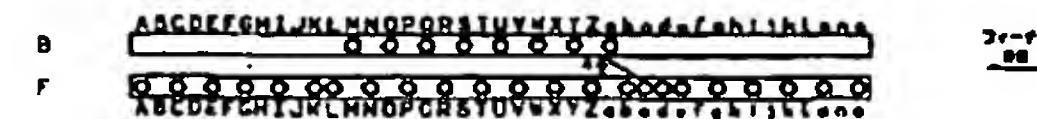
【図236】



【図238】



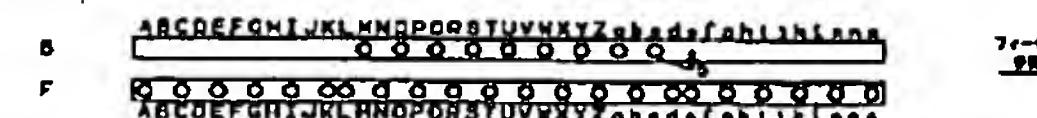
【図226】



【図228】



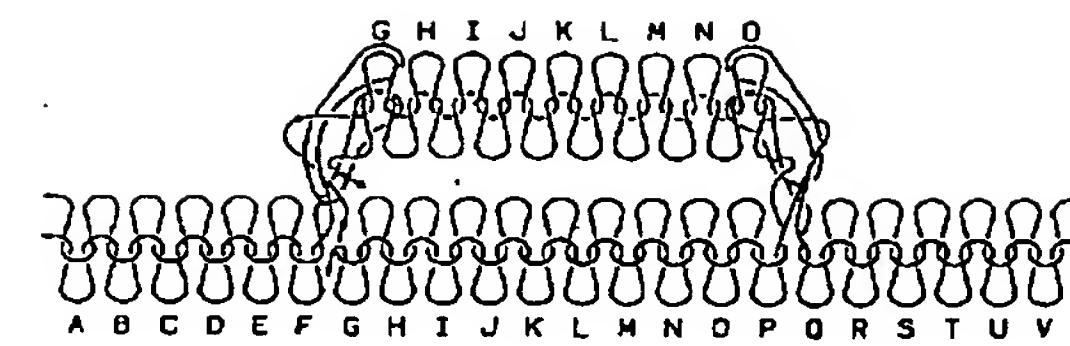
【図230】



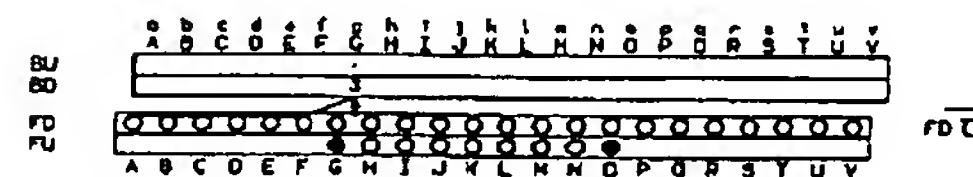
【図232】



【図233】



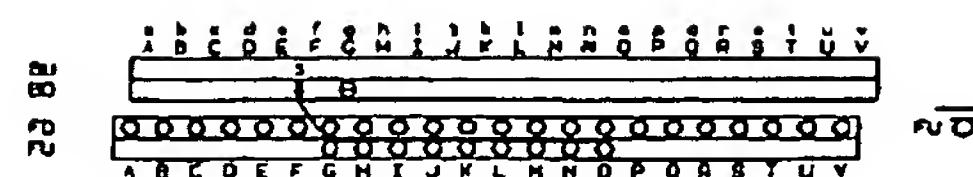
【図235】



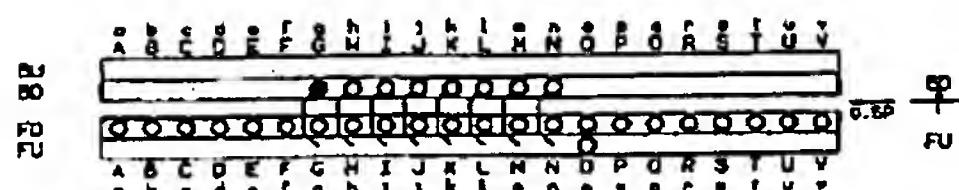
【図237】



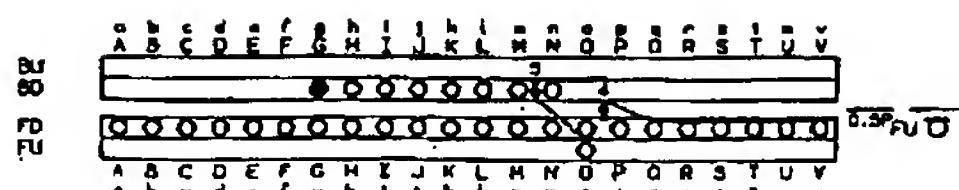
【図239】



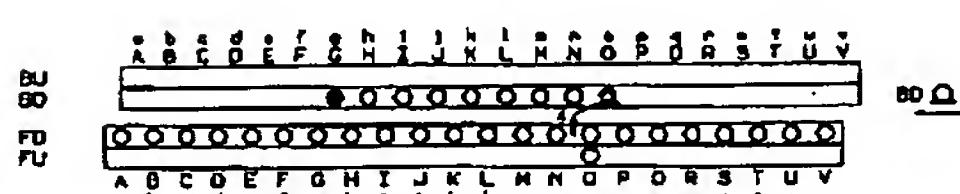
【図240】



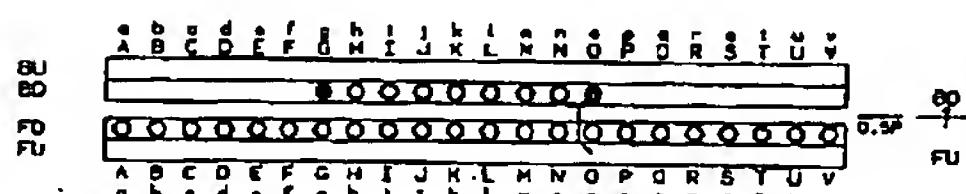
【図242】



【図244】



【図246】



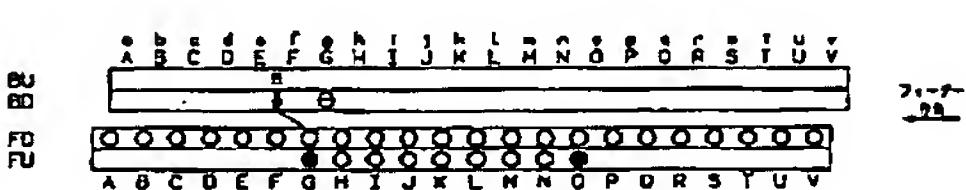
【図248】



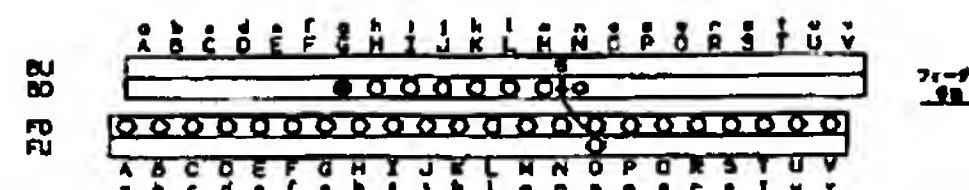
【図250】



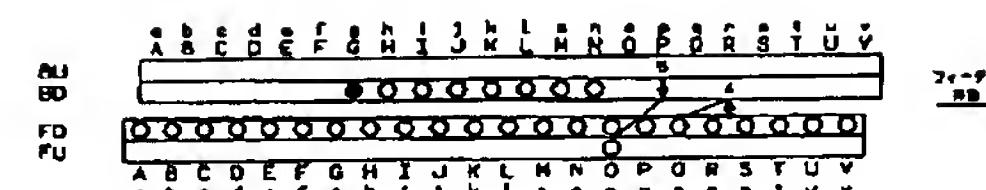
【図252】



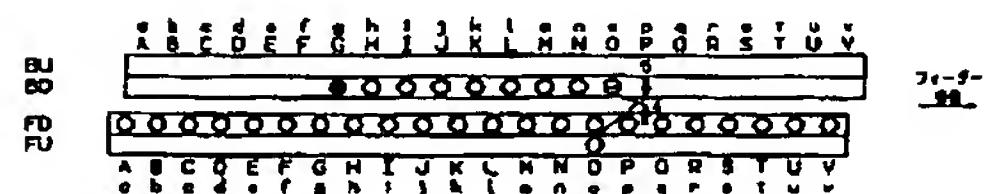
【図241】



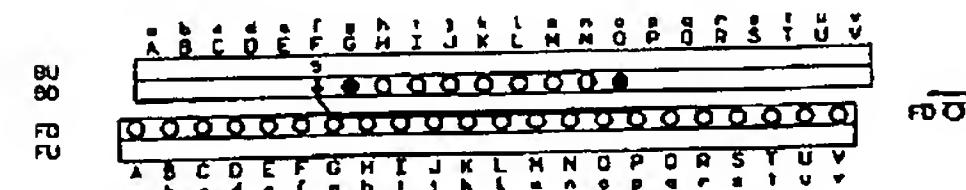
【図243】



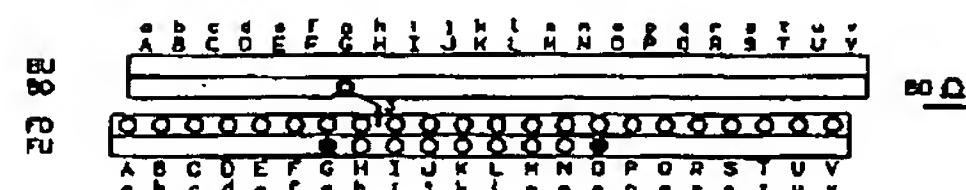
【図245】



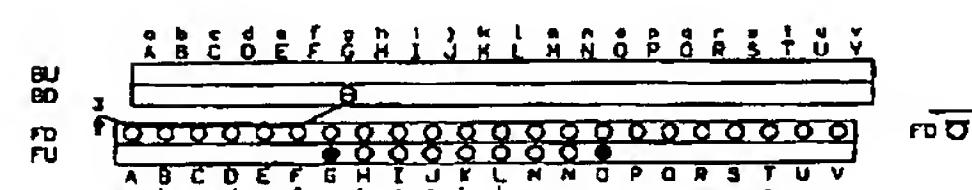
【図247】



【図249】



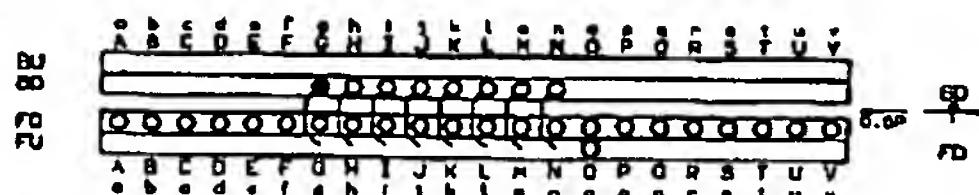
【図251】



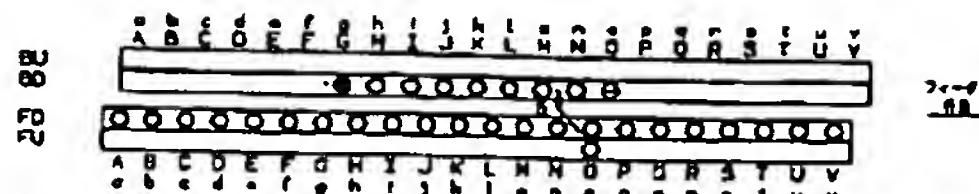
【図253】



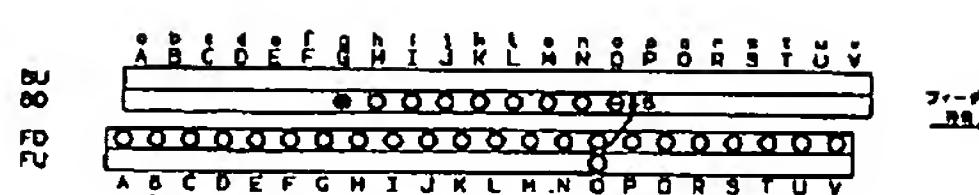
【图254】



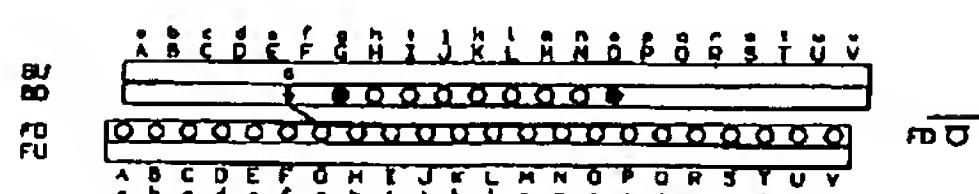
【四 256】



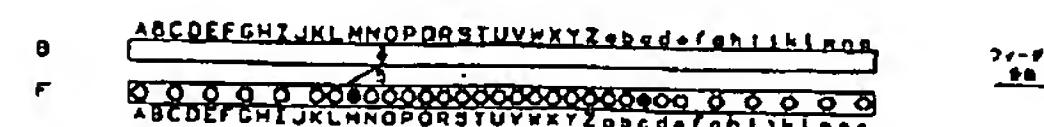
〔図258〕



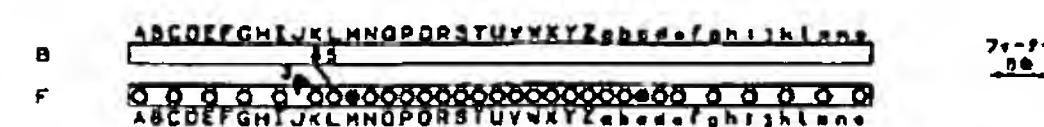
〔图260〕



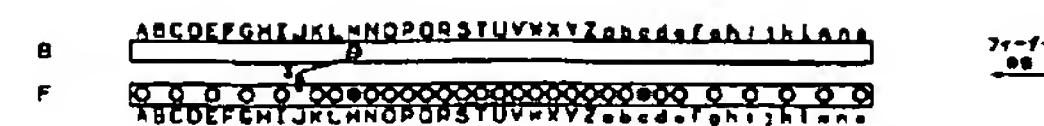
【图262】



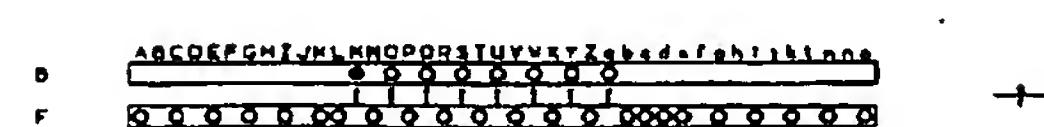
〔四〕 264



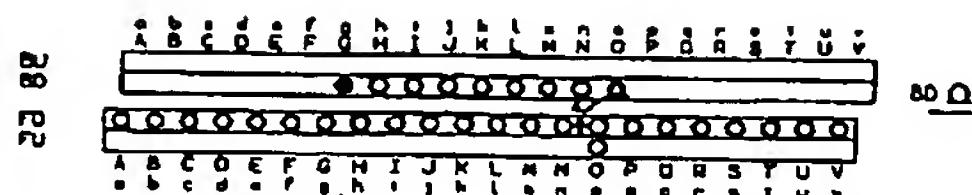
【图266】



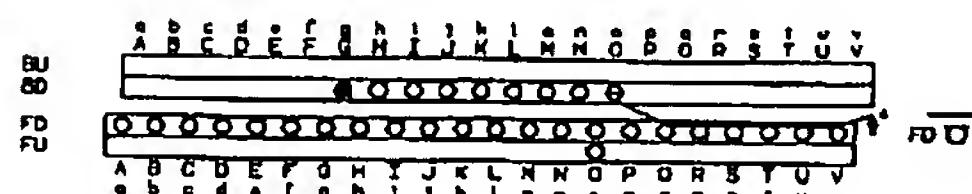
(图268)



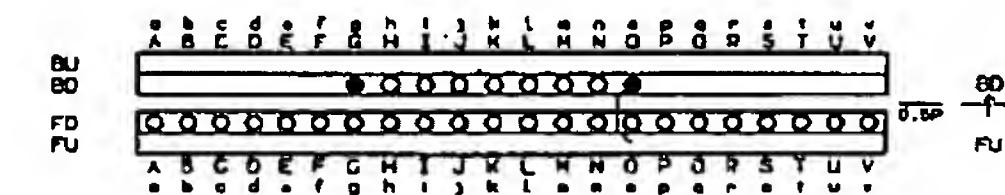
【图255】



【图257】



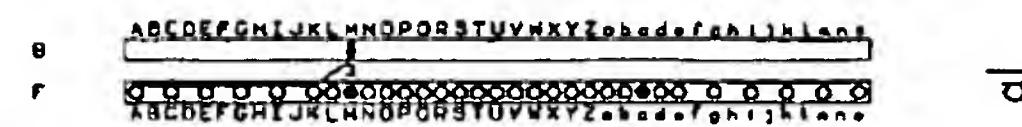
(图259)



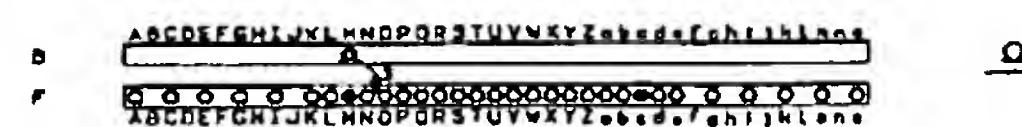
【图261】



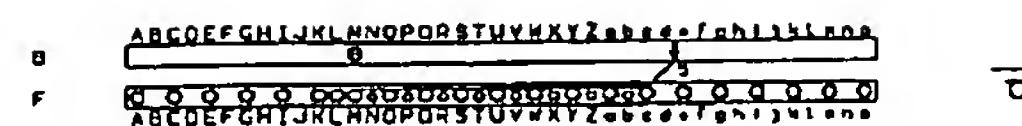
【四 263】



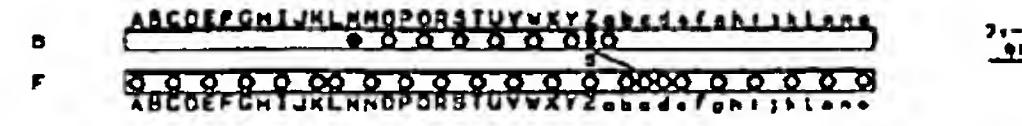
(四) 265)



【四 267】



【图269】



【四】288】

A black and white photograph of a vintage slide projector. The projector is positioned horizontally, with its lens on the right side. A film strip is inserted into the projector, showing a sequence of slides. The slides feature the English alphabet (A through Z) in various fonts and styles, such as bold, italicized, and decorative. The projector is set against a dark background.

【四 290】

A diagram of a zipper with two rows of teeth. The top row has teeth labeled G, H, I, J, K, L, M, N, O from left to right. The bottom row has teeth labeled A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V from left to right. The teeth are represented by simple teardrop shapes.

【四】292】

A black and white photograph of a vintage slide projector. The projector is positioned at the top of the frame, with its lens pointing downwards. A single horizontal film strip is visible, extending across the width of the projector. The film strip features a grid of small squares, each containing one of the letters from A to Z in a bold, sans-serif font. The letters are arranged in five rows: A, B, C, D, E in the first row; F, G, H, I, J in the second; K, L, M, N, O in the third; P, Q, R, S, T in the fourth; and U, V in the fifth. The projector itself has a dark, metallic finish with some visible dust or scratches. The background is plain and light-colored.

〔四二九四〕

The diagram illustrates a 16-channel ADC system. At the top, a legend lists 16 channels labeled A through V, each associated with a specific bit position in the digital output word. The digital output bus consists of 16 horizontal lines, each representing one of the 16 bits. Below the bus, a central vertical line connects all 16 channels. To the left of the bus, there are four labels: BU, BD, FD, and FU, which likely correspond to different operating modes or conditions. The bottom part of the diagram shows the 16-bit digital output word again, with the same channel assignments as the top section.

[图296]

【图298】

The diagram shows a 16x16 grid. The columns are labeled with letters A through V at the top. The rows are labeled with numbers 0 through 9 on the left. The first row (0) contains the letters A through V. The second row (1) contains the letters A through V. The third row (2) contains the letters A through V. The fourth row (3) contains the letters A through V. The fifth row (4) contains the letters A through V. The sixth row (5) contains the letters A through V. The seventh row (6) contains the letters A through V. The eighth row (7) contains the letters A through V. The ninth row (8) contains the letters A through V. The tenth row (9) contains the letters A through V.

【四〇〇】

A diagram of a 16-hole punched card. The top row contains labels A through V above each of the 16 columns. The second row shows a series of 16 circular holes. The third row shows a series of 16 circular holes, with the 13th hole from the left being open. The fourth row shows a series of 16 circular holes, with the 13th hole from the left being open. The fifth row shows a series of 16 circular holes, with the 13th hole from the left being open. The sixth row shows a series of 16 circular holes, with the 13th hole from the left being open.

【图289】

A photograph of a vintage slide projector. The film strip is visible, showing two rows of characters. The top row contains uppercase letters A through Z followed by lowercase letters a through z and some symbols. The bottom row contains the same sequence of characters. The projector has a dark body with a bright light source at the front.

【四】291】

Diagram illustrating the mapping of letters to a 16x16 dot matrix keyboard. The top row shows labels A through V above the dots, and the bottom row shows labels A through V below the dots. A horizontal line connects the two rows. A vertical line connects the first dot of the first row to the first dot of the second row. A small arrow points from the label 'F' to the second dot of the first row.

【图293】

(図295)

〔図297〕

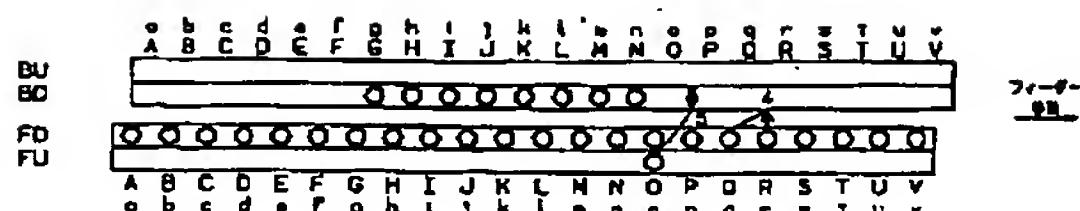
【図299】

a b c d e f g h i j k l m n o p o r s t u v
 1 2 3 4 5
 A B C D E F G H I J K L M N O P O R S T U V
 80
 FO FU
 80
 FU

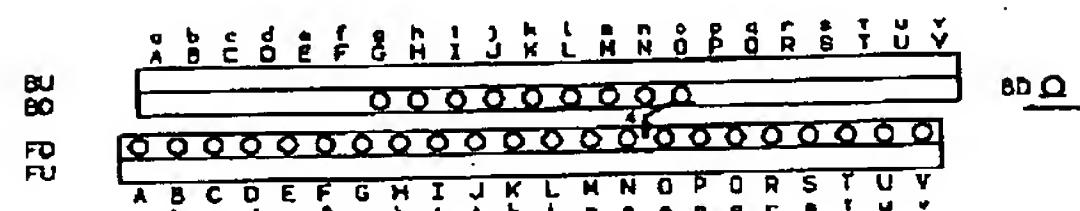
【図301】

The diagram consists of two rows of letters A through V. The top row is positioned above a horizontal line, and the bottom row is positioned below it. Each letter is placed inside a small rectangular box. In the top row, the letters are arranged as follows: A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V. In the bottom row, the letters are arranged as follows: A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V. Arrows point from the letter 'O' in both rows to the corresponding boxes.

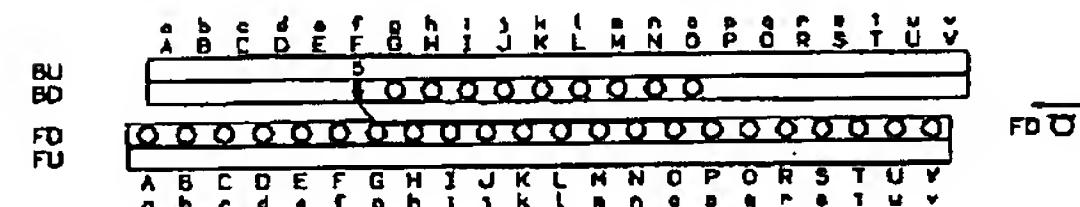
〔四三〇二〕



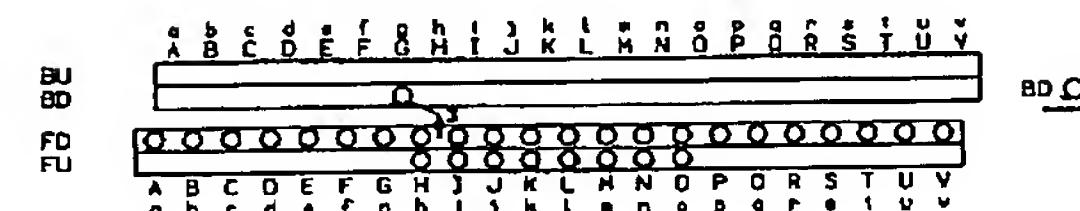
【四三〇四】



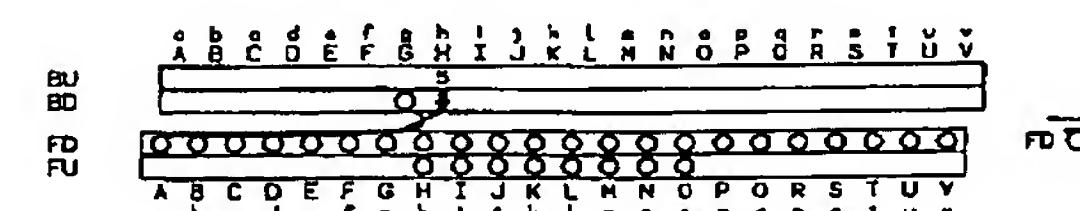
【四三〇六】



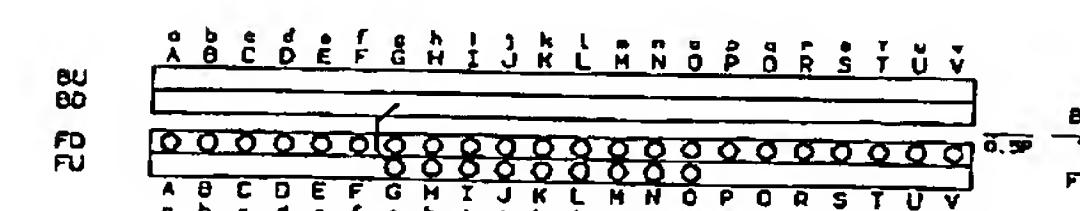
〔四三〇八〕



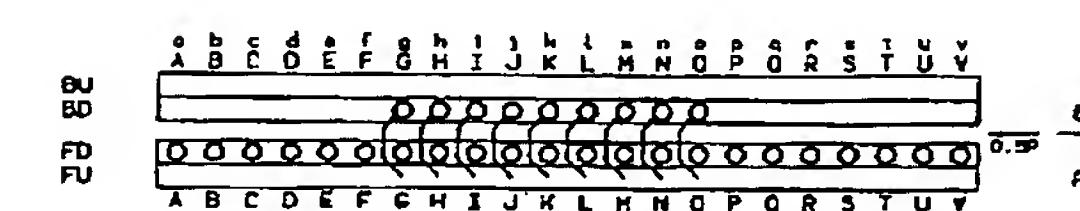
[图310]



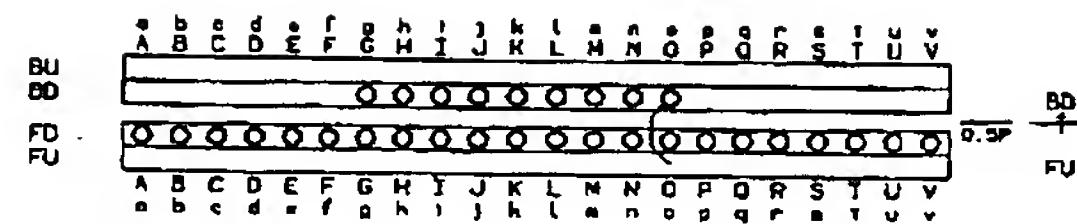
【図3-1-2】



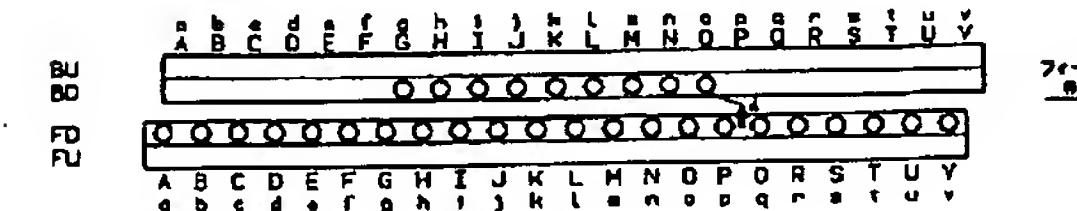
[图3-1-4]



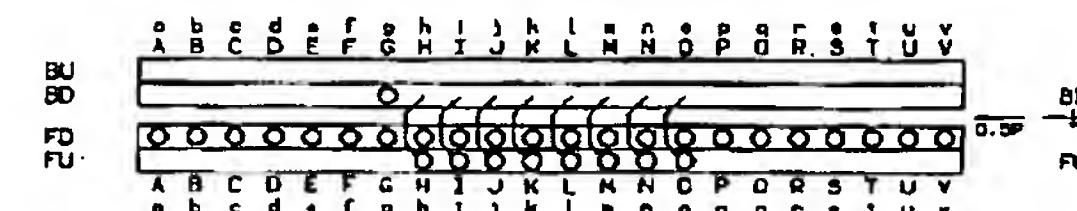
〔四三〇〕



【四三〇五】



【四三〇七】



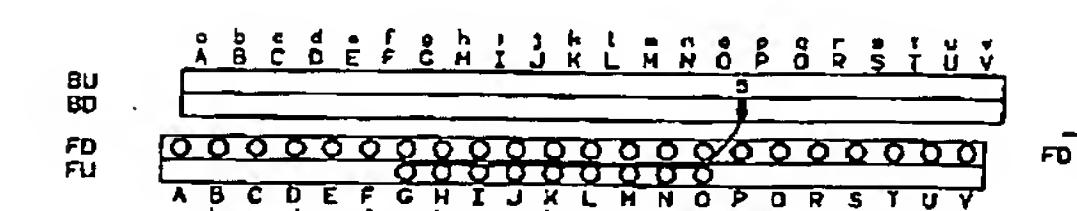
【四三〇九】



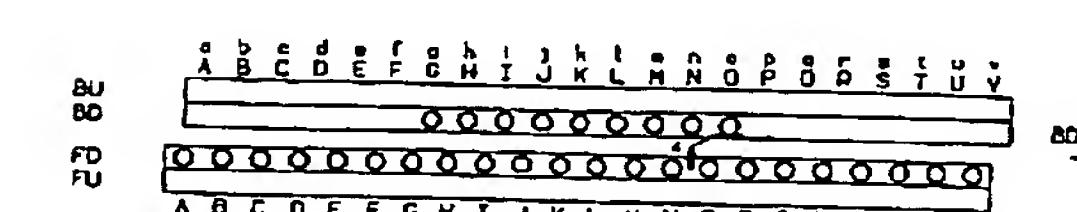
〔図311〕



【313】



[图3.1.5]



【図316】

BU
FD
FU

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
oooooooooooo
oooooooooooooooooooooooo
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
o b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v

7,7-
88

【図318】

BU
FD
FU

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
oooooooooooo
oooooooooooooooooooooooo
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
o b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v

7,7-
88

【図320】

BU
FD
FU

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
oooooooooooo
oooooooooooooooooooooooo
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
o b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v

7,7-
88

【図322】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図324】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図326】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図328】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図330】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図317】

BU
FD
FU

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
oooooooooooo
oooooooooooooooooooooooo
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
o b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v

7,7-
88

【図319】

BU
FD
FU

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
oooooooooooo
oooooooooooooooooooooooo
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
o b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v

7,7-
88

【図321】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図323】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図325】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図327】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図329】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

【図332】

B
F

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno
oooooooooooooooooooooooo
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabedefghijklno

7,7-
88

〔四三三一〕

ABCDEFghijklmnop
0000000004
F ABCDEFghijklmnop

【图334】

【四三三六】

〔四三八〕

【四三四〇】

8 3 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
F 
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

【図3.4.2】

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o
8
F
0
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

【图3-4-4】

[図3.4.9]

B	
F	

〔图333〕

〔図335〕

【图337】

【図339】

[3 4 1]

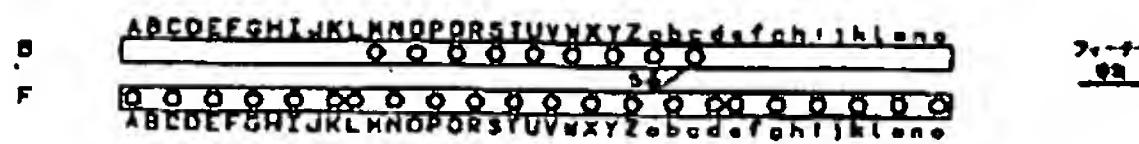
O ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
8 
F 

【図3-4-3】

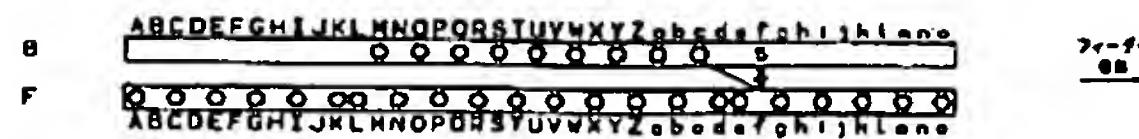
A handwriting practice sheet featuring a grid for letter tracing. The top row contains uppercase letters A through Z and lowercase letters a through z. The bottom row contains the numbers 0 through 9. There are also several punctuation marks and symbols including a checkmark (✓), a question mark (?), a period (.), a comma (,), a dash (-), a plus sign (+), a minus sign (-), a multiplication sign (×), a division sign (÷), and an equals sign (=). The grid is designed for tracing practice.

【图3-4-5】

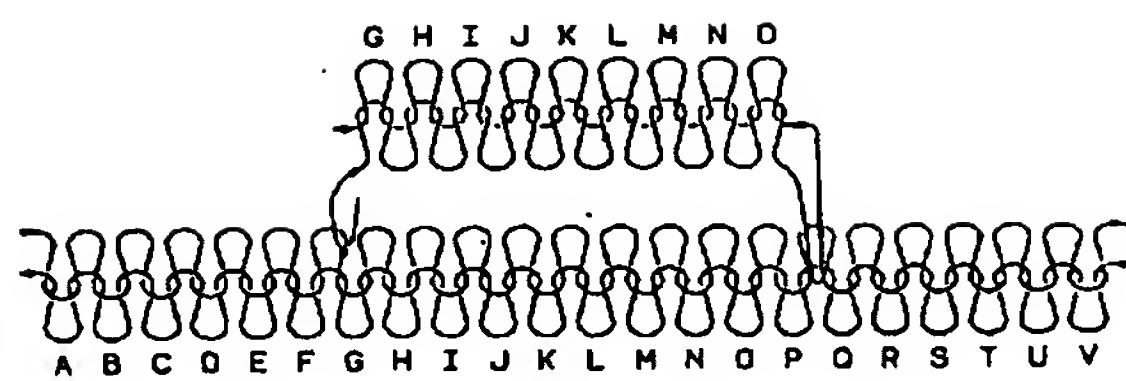
【図346】



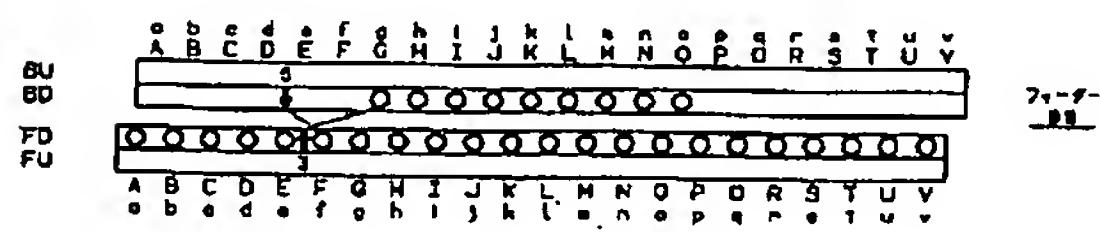
【図348】



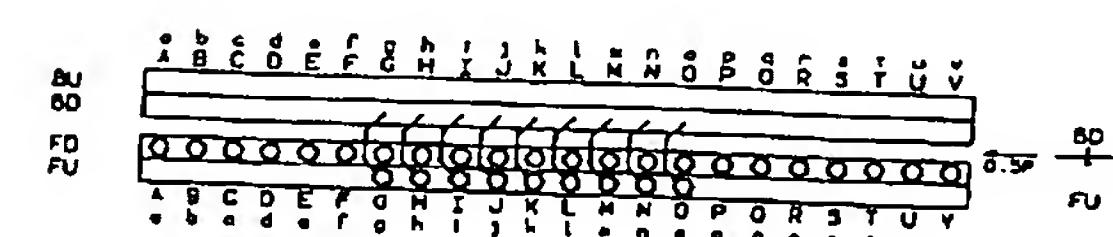
【図351】



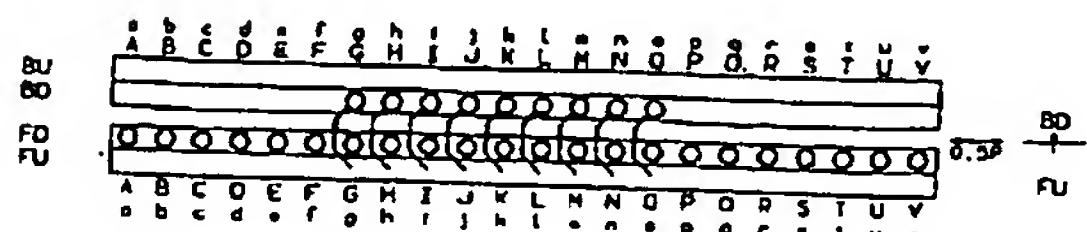
【図353】



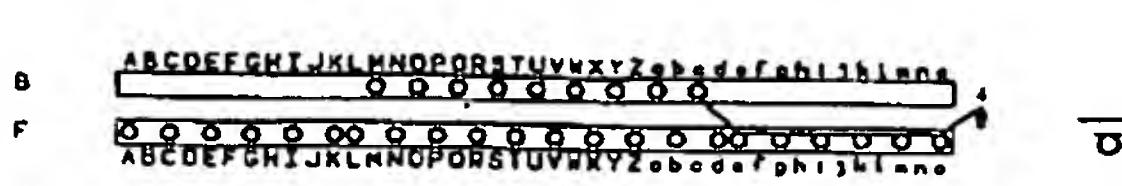
【図355】



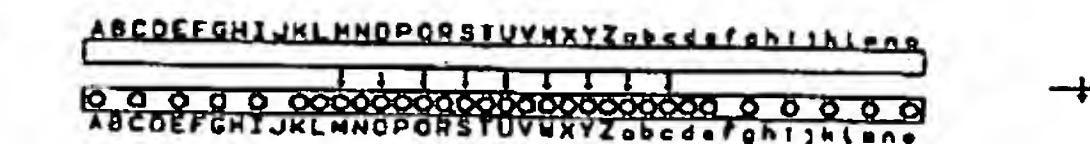
【図357】



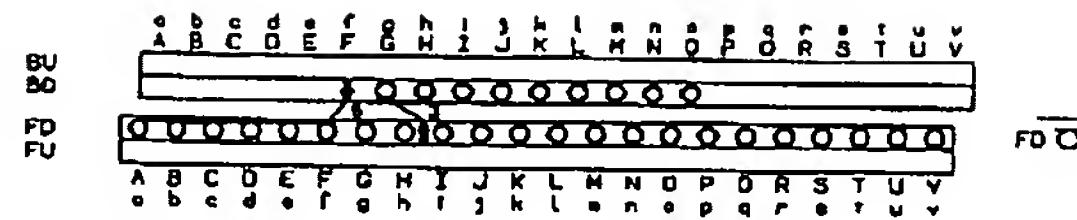
【図347】



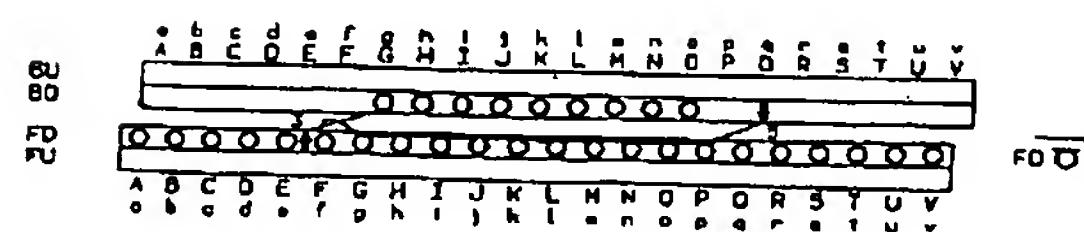
【図350】



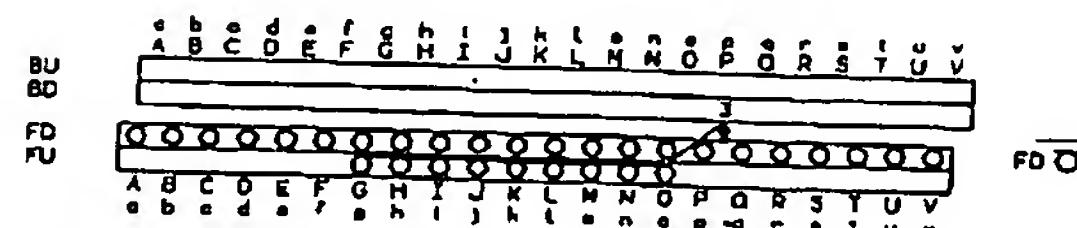
【図352】



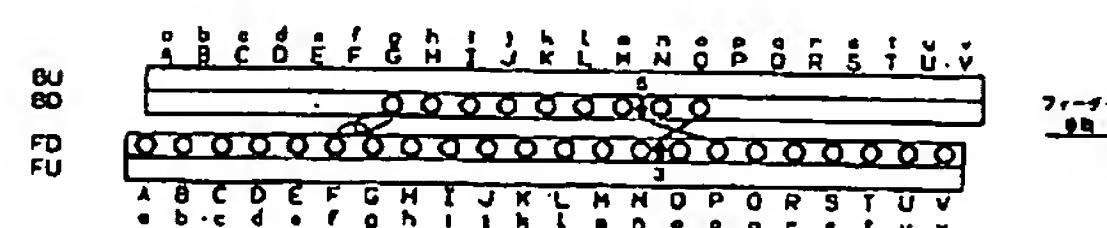
【図354】



【図356】



【図358】



〔四三五九〕

The diagram shows a 16x16 grid. The columns are labeled at the top with letters A through U. The rows are labeled on the left with BU, BO, FD, and FU. The grid contains numerical values: the first four columns (A-D) have values 0, 1, 2, and 3 respectively; columns E through U have values 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7. There are also some handwritten annotations: a circled '0' in the 10th row of column E, a circled '1' in the 11th row of column F, and a circled '2' in the 12th row of column G.

(凶 3 6 1)

【図363】

[图3-6-5]

〔四三六七〕

【図369】

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

 F ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

〔図371〕

A horizontal ruler scale marked from 0 to 10 centimeters. Millimeter markings are present between each centimeter mark. Below the ruler is a 1 cm by 10 cm grid of small circles, used for precise measurements.

(44)

(四三六〇)

〔四三六二〕

【図364】

BU	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
BD	E
FD	O O
FU	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V

〔图366〕

80
80
FD
FU

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V

S

0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

J

0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

フード
ル

[図368]

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnpqrts
F ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnpqrts

〔図370〕

A handwriting practice sheet featuring two rows of letters and numbers for tracing. The top row contains uppercase letters A through Z followed by lowercase letters a through z, all enclosed in a rectangular frame. The bottom row contains the same sequence of letters and numbers, also enclosed in a rectangular frame. Both rows are preceded by a row of numbers from 0 to 9.

【図372】

【図3.7.4】

[图373]

[☒ 376]

【図378】

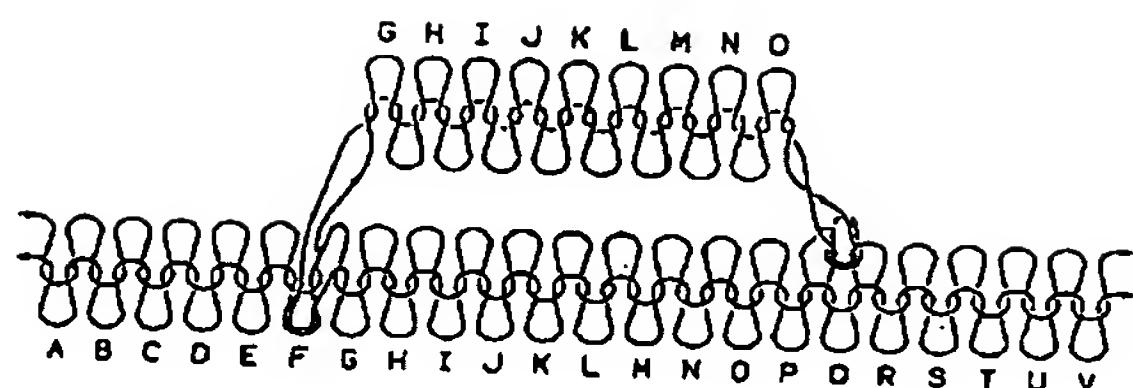
B	ABCDEF GHIJKL MNO OPQRSTU VWXY Z	a bcd efghijklm opqrstuvwxyz
F	ABCDEF GHIJKL MNO OPQRSTU VWXY Z	a bcd efghijklm opqrstuvwxyz

〔四三八〇〕

B ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
F ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

〔四〕 382

(四) 384)



(☒ 386)

(图375)

〔図377〕

【図379】

【四三八一】

A handwriting practice sheet featuring two rows of letters for tracing. The top row contains uppercase letters A through Z, followed by lowercase letters a through z. The bottom row contains the same sequence of letters. Each letter is preceded by a small circle for a starting point.

(凶 3 8 3)

A handwriting practice sheet featuring two rows of horizontal lines. The top row contains the letters A through Z followed by a series of numbers (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9) repeated twice. The bottom row contains the same sequence of letters and numbers. Each row is preceded by a large letter 'B' and 'F' respectively, likely indicating the starting point for each row.

〔四〕 385

A diagram showing a 16x16 grid. The columns are labeled with letters A through U at the top, and the rows are labeled with numbers 1 through 16 on the left. The grid contains several blacked-out areas: a large rectangular block from row 1 to 10, column A to K; a diagonal line from (A, 1) to (U, 10); a horizontal line from (A, 11) to (U, 11); a vertical line from (A, 12) to (U, 12); and a small rectangular block from (A, 13) to (K, 13). The label 'FU' is located at the bottom left of the grid.

〔四〕 387

BU
BO
FD
FU

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V

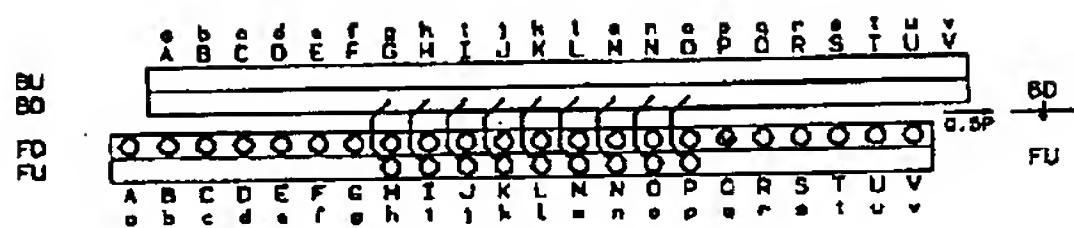
B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V

C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V

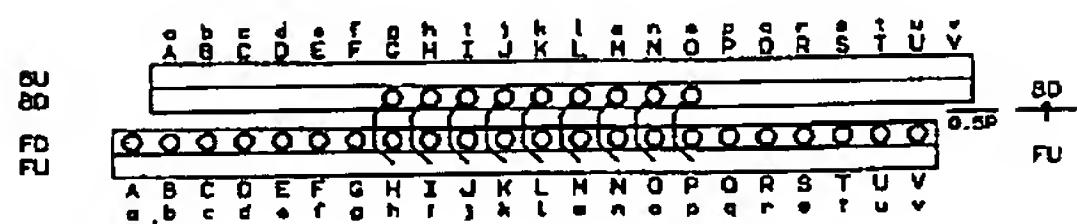
D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V

FD

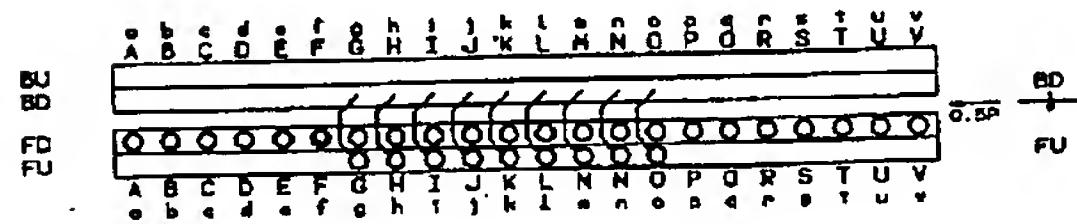
〔四三八〕



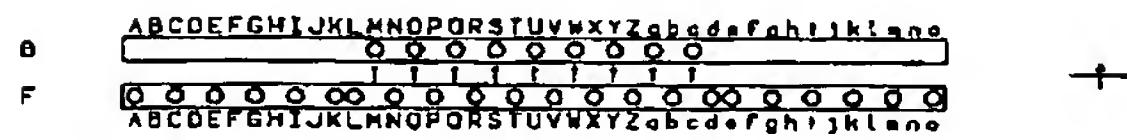
【四三九〇】



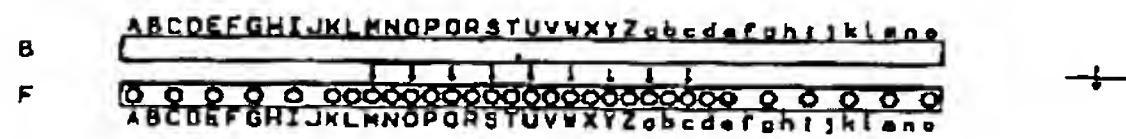
【四三九二】



【四三九】



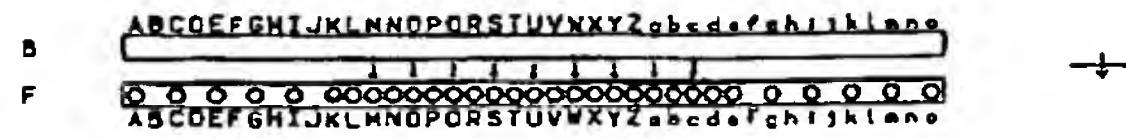
【图396】



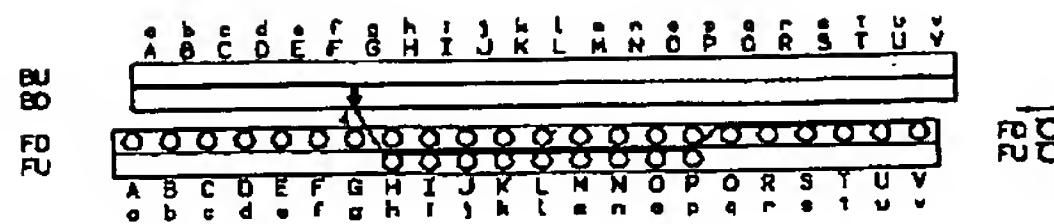
〔图398〕



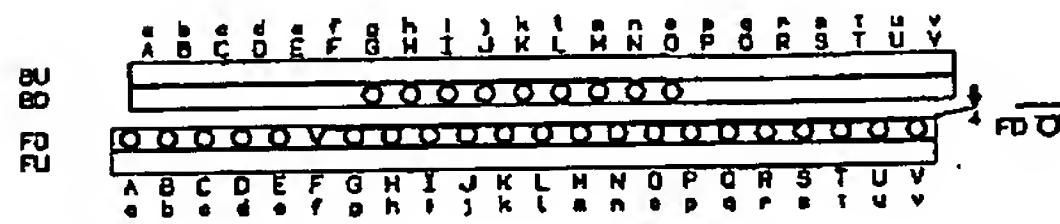
【四〇〇】



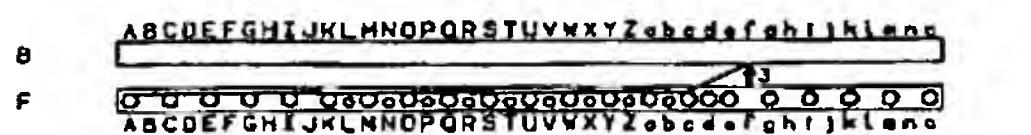
〔四三八九〕



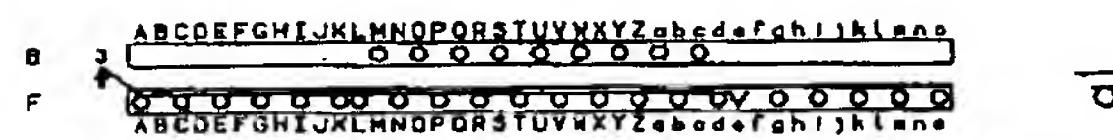
【四三九一】



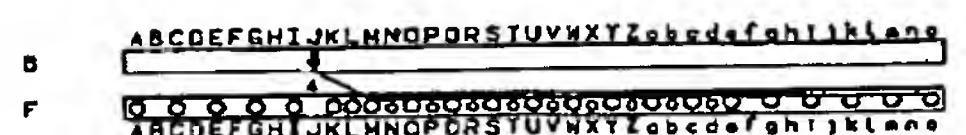
【图393】



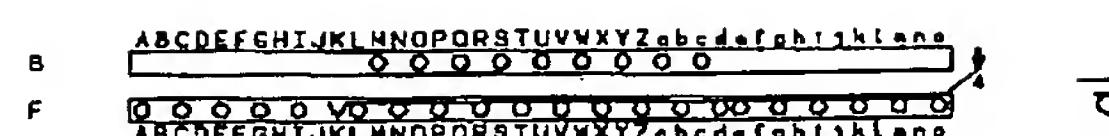
【图395】



【図397】



【図399】



〔图398〕

【手続補正書】

【提出日】平成5年3月26日

【手続補正1】

【補正対象書類名】図面

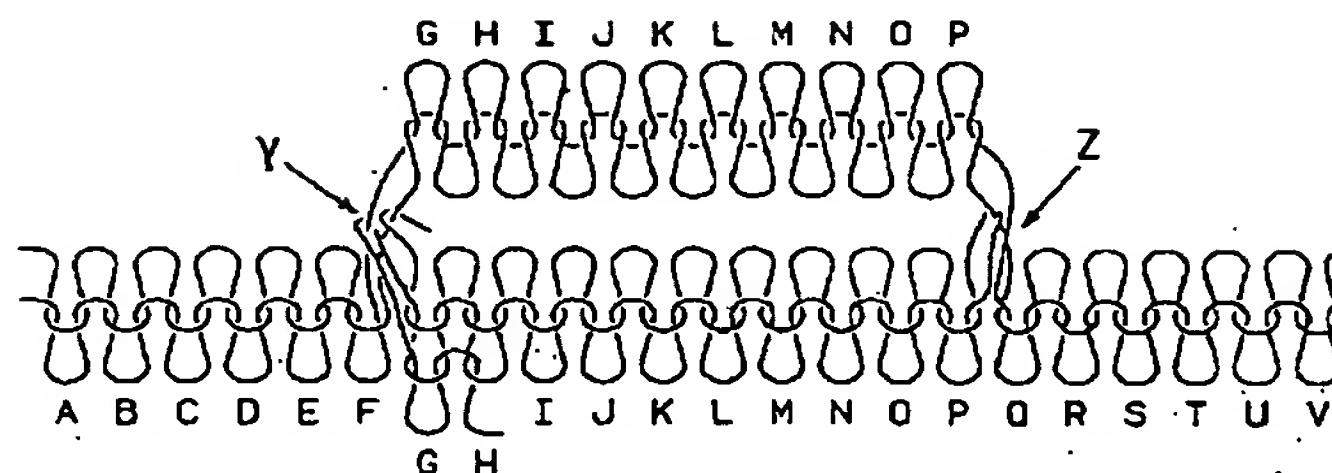
【補正対象項目名】図2

* 【補正方法】変更

【補正内容】

【図2】

*



【手続補正書】

【提出日】平成5年3月26日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項5】ポケット側方部のベース編地部とポケット編地部との連結をニットループにより形成したことを特徴とする請求項1に記載の貼付け型ポケットを有する編地の編成方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正内容】

【0016】次に、図9でフィーダー3及びフィーダー5が左方に移動されてそれぞれの給糸がクロスした状態にされた後、図10でフィーダー3が右方に移動され、次いで図11でフィーダー5が右方に移動される。図12では前方で下側に配設された針床FDの編針I及びNに掛止されているループが後方で下側に配設された針床BDの編針I及びNに割って掛止する“割り増やし”が行われ、図13で針床FDの編針N～Iにフィーダー5からの給糸によりループが形成された後、図14で針床BDの編針I～Nに掛止しているループが前方で上側に配設された針床FUの編針i～nに移される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正内容】

【0022】図45で針床FUの編針g～pに掛止されているループを針床BDの編針G～Pに移す。この図32から図45までの編成コースを適宜繰り返すことによ

りポケット2のストレート部分が編成されるのであるが、このポケット2のストレート部分の両側縁部分は図2のY及びZで示すように前身頃編地部分7に編糸同士が交差した状態で連結されるのである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正内容】

【0030】しかるのち、図87で後方の針床BU、BDを右方に1ピッチラッキングさせてから、針床BDの編針G～Pに掛止されたループを針床FDの編針G～Pに移した後、図88でフィーダー3で針床BDの編針V～Aに給糸してループを形成すると、形成されたポケット2の口部のリブ編みの両端縁部分は図58、図67で示すように身頃部分の編地に編糸同士が絡んで連結された状態に編成されるのである。以後、この図88を適宜繰り返して前身頃編地部分7が形成されるのである。こうして編成されたカーディガンの前身頃編地部分7には下方及び両側縁部分が前身頃編地部分7の編糸に絡んで連結され、而もポケット部分の編地で隠れる前身頃編地部分7の編み組織が表地に形成されるとともに、貼付型ポケット2特有の盛り上がりに富んだ状態のポケットが形成されるのである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正内容】

【0044】[実施例5]此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例1と同様に、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”の横編機を行い、図233で示すよ

うなポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の連結をニットによる連結で形成するようにした貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。そして、図234乃至図261までは上記実施例1における貼付け型ポケットを有する編地の編成方法の編成コースの内、変更する部分のみを示す。此處で、図234乃至図261で編成されるポケット2のストレート部分のループの数が実施例1に於ける図32乃至図45に示されるループの数と相違するが、これは当該実施例に使用した“四枚ニードルベッド”の横編機がその前方のニードルベッドと後方のニードルベッドとを0.5ピッチずらして設けられたものを使用しているからであって、それ以外は上記実施例1と同じである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正内容】

【0046】図245でフィーダー4を右方に移動させてフィーダー5との給糸がクロスした状態にし、図246で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせた後、針床FUの編針oのループを針床BDの編針Oに移して重ねると、ポケット2の右側縁部分は前身頃7の編地に絡んだ状態になる。図247で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせて戻し、フィーダー5から針床FDの編針P～Gに給糸してループを形成し、図248では後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチ移動させてから針床BDの編針G～Oに掛止されているループを針床FUの編針g～oに移す。図249で空針となっている針床BDの編針Gにフィーダー3で給糸してループを形成し、図250でフィーダー5を右方に移動させるとフィーダー3とフィーダー5からの給糸はクロスした状態になり、図251でフィーダー3から針床FDの編針F～Aに給糸してループを形成し、図252でフィーダー5を左方に移動させる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正内容】

【0052】〔実施例7〕此の実施例に斯かる貼付け型ポケットを有する編成方法は、上記実施例1と同様に、上面に夫々多数の編針を進退摺動可能に収納した針床をハの字型に対峙させ、これを上下に配設させた所謂“四枚ニードルベッド”的横編機を用い、図290で示すようなポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分の連結をニットによる連結で形成するようにした貼付け型ポケットを有する編地の編成方法を示すものである。そして、図291乃至図320までは上記実施例1における貼付

け型ポケットを有する編地の編成方法の編成コースの内、変更する部分のみを示す。此處で、図291乃至図320で編成されるポケット2のストレート部分のループの数が実施例1に於ける図32乃至図45に示されるループの数と相違するが、これは当該実施例に使用した“四枚ニードルベッド”的横編機がその前方のニードルベッドと後方のニードルベッドとを0.5ピッチずらして設けられたものを使用しているからであって、それ以外は上記実施例1と同じである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正内容】

【0053】即ち、図291でフィーダー5を右方に移動させ、図292で針床FDの編針A～Fにフィーダー3から給糸しループを形成するとともに、図293でフィーダー3及びフィーダー5を左方に移動させる。図294で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床FUの編針gのループを針床BDの編針Gに移し、図295で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせて戻し、フィーダー3で針床BDの編針Gに給糸してループを形成する。図296でフィーダー3を左方に移動させ、図297で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせて戻し、針床BDの編針Gのループを針床FUの編針gに移す。図298では後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせて戻し、フィーダー5から針床FUの編針g～oに給糸してループを形成する。図299で後方の針床BU、BDを左方に0.5ピッチラッキングさせてから針床FUの編針g～nのループを針床BDの編針G～Nに移し、図300で後方の針床BU、BDを右方に0.5ピッチラッキングさせて戻し、フィーダー5を左方に移動させる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】変更

【補正内容】

【0056】以後この図291から図320までの編成コースが繰り返されてポケット2のストレート部分が編成されるのである。こうして編成されたポケット2の両側縁部分と前身頃7の編地との連結は図290に示すように編込みにより連結された状態となるとともに、編地は各フィーダーから供給された編糸による縦筋の模様、所謂“インターナラック”になる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正内容】

【0059】そして、具体的には図321は上記実施例7における図291に対応し、図322から図350までは夫々実施例7における図292から図320迄の各編成コースに順次対応し、形成されるポケット2も上記実施例7と同様に、ポケット2の両側縁部分と前身頃編地部分7との連結は図290に示すようにニットで連結された状態で、而もポケット部分の編地で隠れる前身頃の編地部分の編み組織が表地に形成されるとともに、貼付型ポケット特有の盛り上がりに富んだ状態のポケットが形成されるのである。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正内容】

【0063】以後この図352から図367までの編成コースが繰り返されてポケット2のストレート部分が編成されるのである。こうして編成されたポケット2の両側縁部分と前身頃編地部分7との連結は図351に示すようにポケットの底部及び両端縁部分が身頃部分を編糸同士で連結した状態となる。

THIS PAGE BLANK (USPTO)